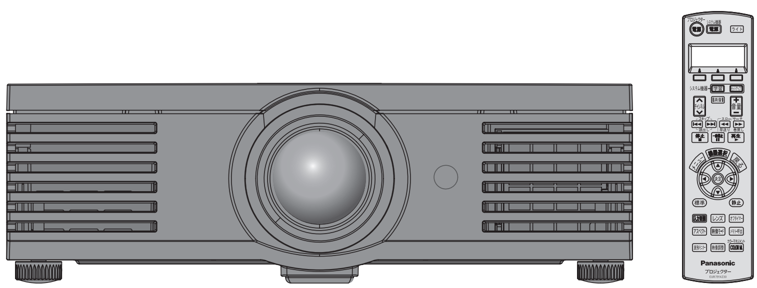
Panasonic

液晶プロジェクター

# 取扱説明書

品番 TH-AE1000



このたびは、パナソニック液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
**特に「安全上のご注意」（４～８ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

■ 製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

TQBH0173

# 目次

## ■投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(☞14 ページ)

↓

2. 本機と外部機器を接続する
(☞18 ページ)

↓

3. 電源コードを接続する
(☞19 ページ)

↓

4. 電源を入れる
(☞20 ページ)

↓

5. 投写する映像を選択する
(☞21 ページ)

↓

6. 映りを調整する
(☞21 ページ)

## 安全上のご注意



## はじめに



## 準備する



## 基本的な使い方

# 目次（つづき）



## 調整と設定



## 点検とお手入れ



## その他

# 安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

**■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

| | |
|---|---|
| 警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。 |
| 注意 | この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。 |

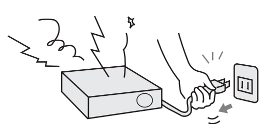
**■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）**

| | |
|---|---|
| | この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。 |
| | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
| | このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。 |

## 警告

### ■煙やへんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く

電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですからおやめください。

### ■天井取り付け（天吊り）などの設置工事は専門の技術者に依頼する

工事の不備があると事故の原因となります。

- 指定された天吊り金具をご使用ください。

### ■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100 V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

### ■使用中は投写レンズをのぞかない

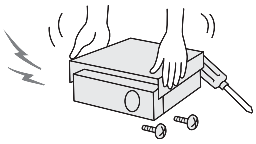
禁止

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。
また、本機から離れる場合は主電源を切ってください。

# ⚠警告

## ■カバー、ケースを外したり、改造したりしない



分解禁止

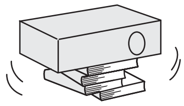
内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。




「本体に表示した事項」

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

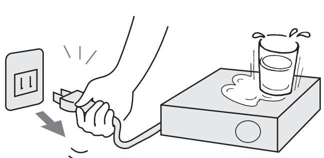
## ■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない



禁止

強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

## ■内部に異物や水などが入ったり、落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

- 修理は販売店にご依頼ください。

## ■上に水などが入った容器を置かない

禁止

水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 水が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。

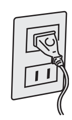
## ■異物を入れない



禁止

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

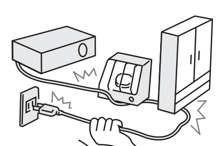
## ■電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

## ■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



禁止

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

## ⚠ 警告

### ■電源プラグのほこりは定期的に掃除をする

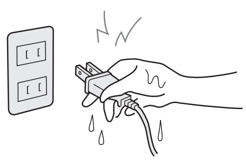


電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

### ■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止



感電の原因となります。

### ■風呂場、シャワー室では使用しない

水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

### ■水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

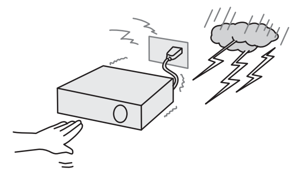
### ■カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しない

禁止

内部に熱がこもり本機の故障、火災ややけどの原因となることがあります。

### ■雷が鳴り出したら、本機やケーブルに触れない

接触禁止



感電の原因となります。

### ■排気孔には手や物を近づけない

禁止

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

- 周辺の壁や物から 10 cm 以上離して設置してください。

### ■電池の＋・－部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

- ビニール袋などに入れ、金属と接触させないようにしてください。

### ■ランプ交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

感電や破裂の原因となります。

### ■ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待って）行う

カバー内部がかなり熱く、やけどの原因になります。

## 警告

### ■リモコンは幼児やペットなどに触らせない

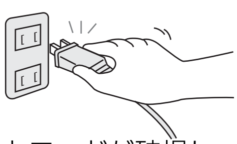
禁止

付属のリモコンは本機の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると、火災や大けがの原因となります。

- 使用後は幼児やペットが触らないように、手の届かないところに置いてください。

## 注意

### ■電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く



コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

### ■移動させる場合は、必ず接続線を外す

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

### ■電池はショート、分解、加熱、火・水に入れるなどしない

禁止

発熱、液もれ、破裂などを起こし、けが・やけどの原因になることがあります。

### ■電池を入れるときは極性表示（＋と－の向き）に注意する

間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

### ■指定以外の電池を使用しない

禁止

破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

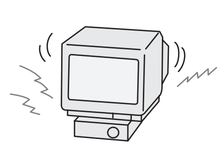
### ■新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

禁止

間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

### ■上に重い物を置かない

禁止



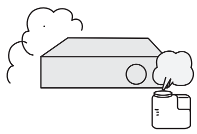
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

# ⚠注意

## ■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



禁止

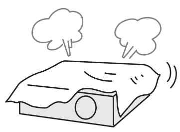


火災・感電の原因となることがあります。
また、油により樹脂が劣化し、天吊り設置のときに落下する恐れがあります。

## ■吸気孔や排気孔をふさがない



禁止



内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 押し入れ、本棚など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- 布や紙などの上に置かないでください。
  吸気孔に吸着する場合があります。

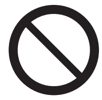
## ■ランプが破裂したときは、直ちに換気を行い、触ったり、顔を近づけない



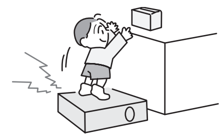
散乱したガラス片でけがをしたり、破裂により発生したガス（蛍光灯程度の水銀を含有）を吸い込んでしまう恐れがあります。

- 万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。
- 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

## ■本機に乗らない



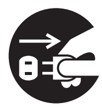
禁止



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

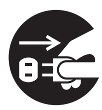
## ■長時間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜く



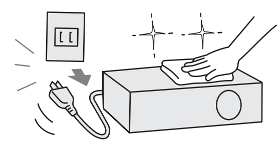
電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。また、電源を切っても約 0.08 W の電力を消費しています。

## ■お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

## ■1 年に 1 度は内部の清掃を販売店に依頼する



本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

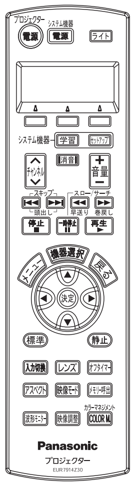
- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。
  なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

# ご使用になる前に

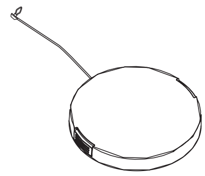
## 付属品の確認

下図の付属品が入っていることを確認してください。

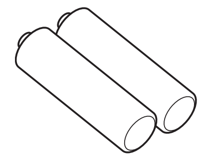
リモコン 1 個
(EUR7914Z30)



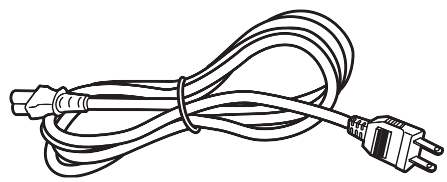

レンズキャップ 1 個
(TXFKK01VKD4)



リモコン用単 3 形乾電池
2 個



電源コード（3 m）1 本
(K2CA2FH00001)



## 運搬上の留意点

### ■運搬中は必ずレンズカバーを取り付けてください。

- 投写レンズは、振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時は特にご留意ください。

### ■本機の底面を持ち運搬してください。

- 伸ばしたアジャスター脚をつまんで持ち上げたり、天面パネルのみを持った状態で運搬しないでください。破損する恐れがあります。

## 設置に関する留意点

### ■以下の場所には設置しないでください

- 振動や衝撃が加わる場所
  内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所
  （使用環境条件 ☞51 ページ）
  ランプの寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。
  熱により本体が変形し、故障や火災の原因となることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く
  妨害を受ける場合があります。

### ■本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください

別売りの天吊り金具が必要です。

品番：TY-PKX100 （高天井用）、TY-PKE1000S（低天井用）

### ■海抜 1 400 m 以上でご使用の際は、「ファン制御」を「高地」に設定してください（☞40 ページ）

「高地」に設定しないと部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。
また、故障の原因になる場合があります。

### ■本機を立てたり、左右に傾けて使用しないでください（☞14 ページ）

上下方向に± 30 度以上傾けた状態で使用されると部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

## 使用上の留意点

### ■美しい映像をご覧いただくために
スクリーン面に外光や照明などの光が入らないように、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。

### ■投写レンズは素手でさわらないでください
指紋や汚れがつくと、スクリーンに汚れが映ります。また本機を使用されないときは、レンズカバーをかぶせておいてください。

### ■スクリーンについて
スクリーンに変色の原因となる揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。詳しくは、お使いのスクリーンの取扱説明書をご覧ください。

### ■液晶パネルについて
液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されております。投写画面の一部にドット欠けや、常時点灯が存在する場合があります。また、静止画を長時間映すと、液晶パネルに映像の残像現象を起こす恐れがありますが、あらかじめご了承ください。

### ■光学部品について
毎日 6 時間以上連続使用される場合、1 年未満でも液晶パネルや、偏光板などの光学部品の交換が必要になることがあります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

### ■ランプについて
本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。
高圧水銀ランプには下記の特性があります。

- 使用時間にともない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間による劣化などで大きな音で破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。特に 10 時間以上の連続使用や頻繁な電源の入り / 切りの繰り返しは、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。（交換時期／交換手順 ☞44 ページ）

### ■廃棄について
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

### ■業務用として使わないでください
本機は業務用ではありません。

**注意**
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

**注意**
パソコンや外部機器に接続する際、付属の電源コードとシールドされたインターフェースケーブルを使用してください。

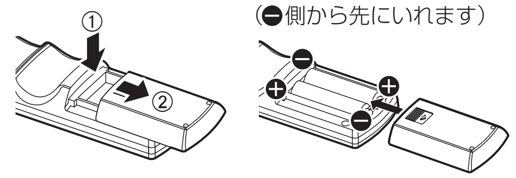
# 各部の名称とはたらき

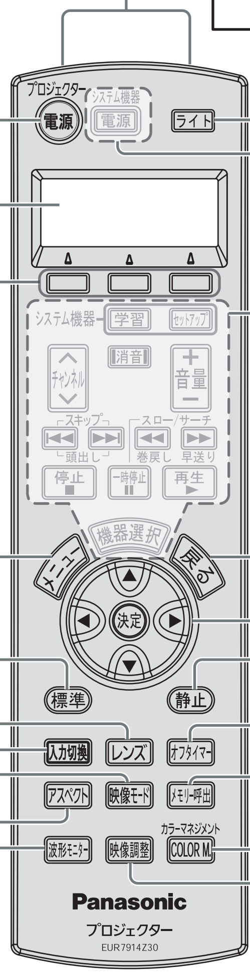
## リモコン

**リモコンの電池の入れかた**

ふたを開ける

電池を入れ、ふたをしめる
(⊖側から先にいれます)




リモコン発信部

本体の主電源「入」状態で電源を「入」「切」する
**(☞20 ページ)**

液晶ディスプレイ

機能（A/B/C）
**(☞41 ページ)**

メニューを表示する
**(☞30 ページ)**

メニューの調整値を工場出荷時の状態に戻す
**(☞30 ページ)**

投写サイズとピントを調整する
**(☞26 ページ)**

入力を切り換える
**(☞22 ページ)**

映像モードを切り換える
**(☞23 ページ)**

アスペクト
（画面の縦横比）
を切り換える
**(☞23 ページ)**

入力波形の表示
**(☞26 ページ)**

リモコンのボタン照明を点灯させる
**(☞25 ページ)**

**システム機器操作用ボタン**
リモコンのプリセット、または他のリモコン信号を学習する機能を使用して、リモコンに登録した機器の操作に使用します。詳しくは別冊のリモコン操作ガイドをご覧ください。

メニュー画面操作に使用する
**(☞30 ページ)**

映像を一時的に静止させる
**(☞22 ページ)**

自動的に電源を切る時間を設定する
**(☞22 ページ)**

「メモリー呼出」
メニューを表示させる
**(☞34 ページ)**

「カラーマネジメント」
メニューを表示させる
**(☞24 ページ)**

「映像調整」
メニューを表示させる
**(☞23 ページ)**

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作できない場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

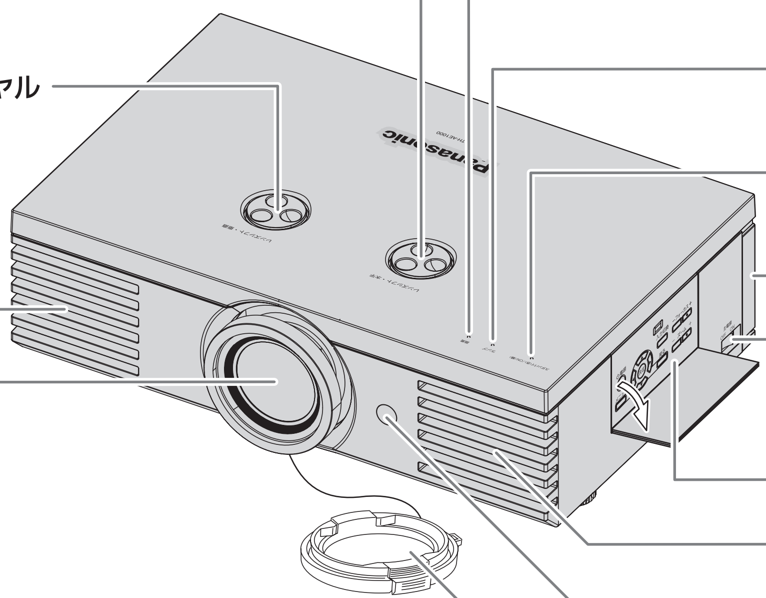
**お知らせ：**
- リモコンを直接、本機の前面のリモコン受光部に向けて操作する場合は、リモコン受光部正面より約 7 m 以内でご使用ください。また、上下左右に± 30 度まで操作可能です。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
リモコンからの信号をスクリーンに反射させて、本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより操作有効範囲に制限がでる場合があります。

# 各部の名称とはたらき（つづき）



## 本体

### ■前面・上面・側面



レンズシフトダイヤル
・水平
(☞21 ページ)

レンズシフトダイヤル
・垂直
(☞21 ページ)

排気孔

投写レンズ

内部温度の
状態を表示します。
(☞19、20 ページ)

ランプユニットの
状態を表示します。
(☞42 ページ)

電源の
状態を表示します。
(☞42 ページ)

エアーフィルター
(☞43 ページ)

主電源スイッチ
主電源を「入」「切」
します。
(☞20 ページ)

操作部

排気孔
(☞11 ページ)

リモコン受光部

レンズカバー
投写レンズ面にごみや汚れがつくのを保護します。本機を使用されないときは、レンズカバーをかぶせておいてください。

**⚠警告**

**■排気孔には手や物を近づけない**

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

禁止

●周辺の壁や物から50㎝以上離して設置してください。

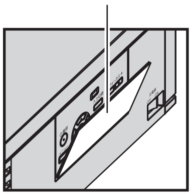
**お願い：**
- 吸排気孔は、ふさがないようにしてください。

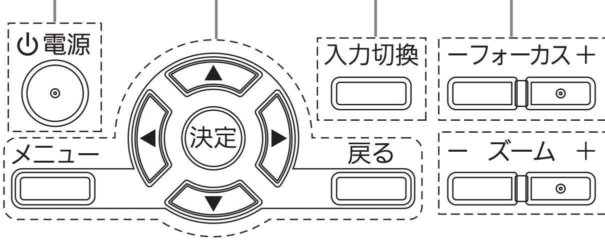
### ■操作部

▲▼◀▶ / メニュー
/ 決定 / 戻る
(☞30 ページ)

電源スイッチ
電源を「入」「切」
します。
(☞20 ページ)

**開けかた/閉めかた**
「押ー開」部を押します。






入力を切り換える
(☞22 ページ)

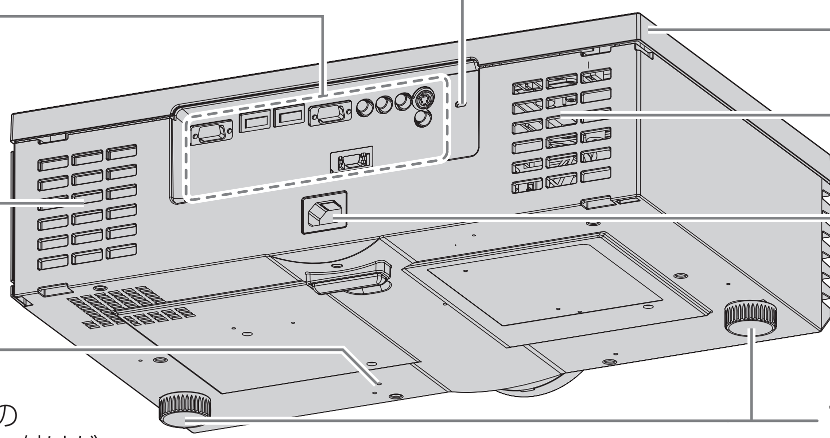
ピントを調整する
(☞21 ページ)

投写サイズを調整する
(☞21 ページ)

## ■後面・底面

**盗難防止用ロック**
市販の盗難防止用ケーブル（Kensington社製）などを接続することができます。
また、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
問い合わせ先は右の通りです。

日本ポラデジタル株式会社　第3営業部
〒104-0032
東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル
Tel：03-3537-1070
Fax：03-3537-1071
※連絡先は変更になる可能性了承ください。



**接続端子**

**天面パネル**

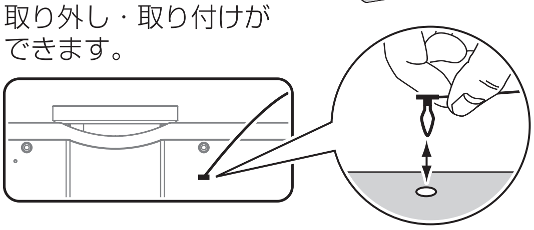
**吸気孔**

**吸気孔**

**ＡＣ入力端子**
付属の電源コードを接続します。
(☞19 ページ )

**レンズカバー取り付け用穴**
レンズカバーの取り外し・取り付けができます。

**アジャスター脚**
投写角度を調整します。
(☞15 ページ)



**お願い :**
- 付属品以外の電源コードは接続しないでください。
- 吸排気孔は、ふさがないようにしてください。
- 天面パネルは、ランプ交換とケーブルカバーの取り付け・取り外し以外は開けないようにしてください。

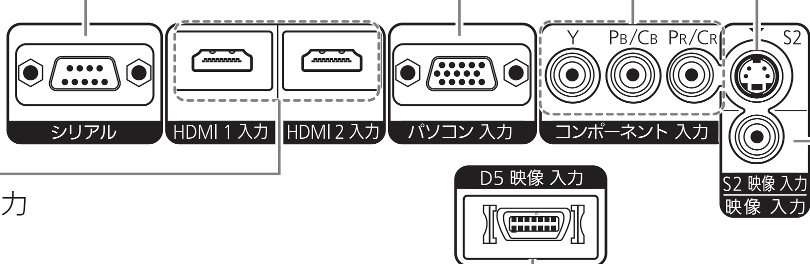
## ■接続端子部

**パソコン入力端子**
パソコンからのＲＧＢ信号を入力する端子です。
(☞18 ページ)

**シリアル端子**
パソコンで本機を制御する端子です。
(☞48 ページ)

**ＨＤＭＩ入力端子**
ＨＤＭＩ信号を入力する端子です。
(☞18 ページ)

**Ｄ5映像入力端子**
Ｄ1映像、Ｄ2映像、Ｄ3映像、Ｄ4映像、Ｄ5映像の信号を入力する端子です。
(☞18 ページ)




**コンポーネント入力端子**
コンポーネント(色差)信号を入力する端子です。（ＹPBPR）
(☞18 ページ)

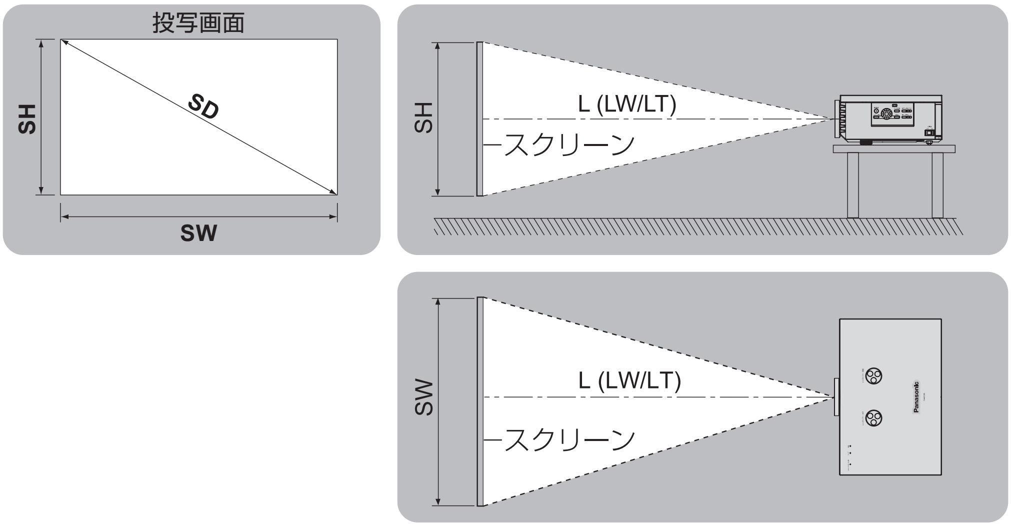
**Ｓ２映像入力端子**
Ｓビデオ信号を入力する端子です。
(☞18 ページ)

**映像入力端子**
ビデオ信号を入力する端子です。
(☞18 ページ)

# 設置する

## 投写画面サイズと設置位置

本機は、2.0 倍ズームレンズの採用により、投写画面サイズの調整ができます。投写する画面サイズと投写距離を確認し設置位置を決定してください。




（下記の表の寸法は若干の誤差があります）

| 投写画面サイズ（アスペクト 16：9 の場合） | | | 投写距離　（L） | |
|---|---|---|---|---|
| 対角（SD） | 高さ（SH） | 幅（SW） | 最短投写距離（LW） | 最長投写距離（LT） |
| 40 インチ | 0.5 m | 0.89 m | 1.2 m | 2.3 m |
| 50 インチ | 0.62 m | 1.11 m | 1.5 m | 2.9 m |
| 60 インチ | 0.75 m | 1.33 m | 1.8 m | 3.5 m |
| 70 インチ | 0.87 m | 1.55 m | 2.1 m | 4.1 m |
| 80 インチ | 1.00 m | 1.77 m | 2.4 m | 4.7 m |
| 90 インチ | 1.12 m | 1.99 m | 2.7 m | 5.3 m |
| 100 インチ | 1.25 m | 2.21 m | 3.0 m | 5.9 m |
| 120 インチ | 1.49 m | 2.66 m | 3.6 m | 7.2 m |
| 150 インチ | 1.87 m | 3.32 m | 4.5 m | 9.0 m |
| 200 インチ | 2.49 m | 4.43 m | 6.0 m | 12.0 m |

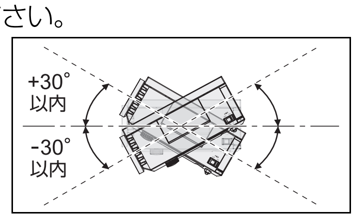
上記の表以外の投写寸法を、投写画面サイズ SD（m）から下記の計算式で求めることができます。
式の単位はすべて m です。（下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。）

投写画面サイズを SD とすると、

投写画面サイズ 幅（SW）　= SD × 0.872
投写画面サイズ 高さ（SH）　= SD × 0.490
最短投写距離（LW）　= 1.189 × SD - 0.04
最長投写距離（LT）　= 2.378 × SD - 0.05

**お願い :**

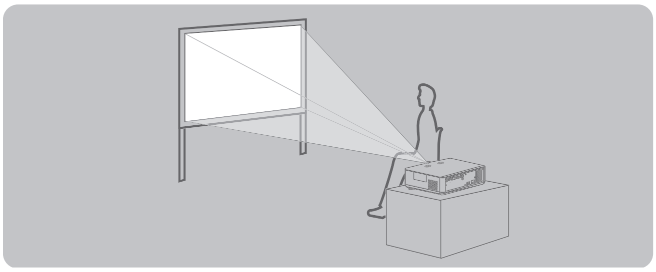
- 美しい映像をご覧いただくためには、スクリーンを外光や照明などの光ができるだけ直接当たらない場所に設置してください。また、カーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。
- 本機を立てたり、左右に傾けて使用しないでください。故障の原因となります。
  本機を傾けて設置する場合は、上下方向に± 30 度以内にしてください。
  本機を上下方向に± 30 度以上傾けた状態で使用されると部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。



## 投写方式

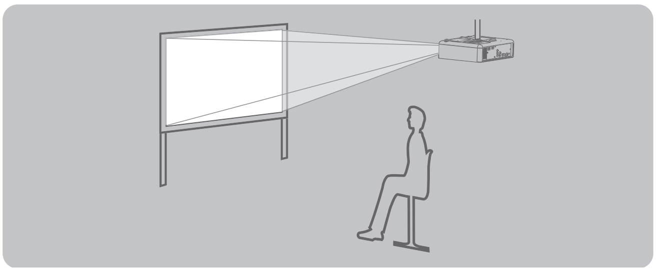
本機は、下図の 4 通りの投写方式が選択可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。
投写方式の設定は「その他の設定」メニューの「設置方法」で設定します。（☞40 ページ）

### ■床置きで前方に投写する場合



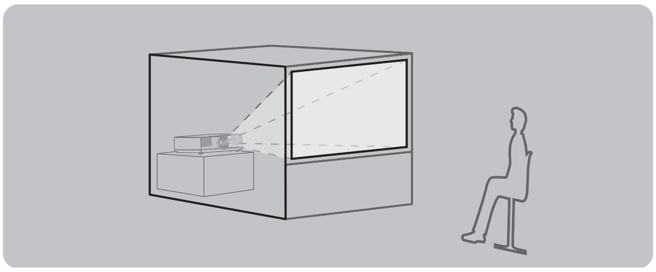
| メニュー項目 | 設定値 |
|---|---|
| 設置方法 | フロント / 床置き |

### ■天吊り設置で前方から投写する場合



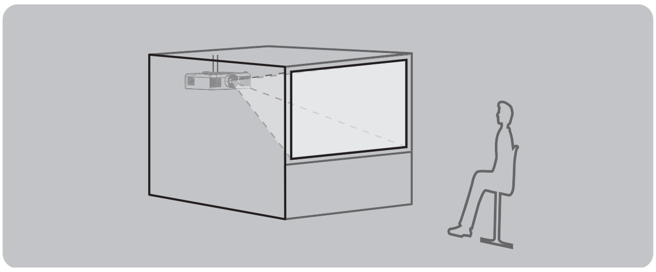
| メニュー項目 | 設定値 |
|---|---|
| 設置方法 | フロント / 天吊り |

### ■床置きで後方に投写する場合（透過スクリーン使用）



| メニュー項目 | 設定値 |
|---|---|
| 設置方法 | リア / 床置き |

### ■天吊り設置で後方に投写する場合

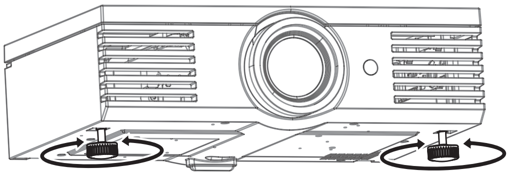


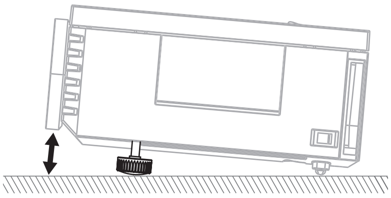
| メニュー項目 | 設定値 |
|---|---|
| 設置方法 | リア / 天吊り |

**お知らせ :**
- 天吊り（シーリング）設置には、別売りの天吊り金具が必要です。
  品番：TY-PKX100 （高天井用）、TY-PKE1000S （低天井用）

## アジャスター脚による投写角度調整

アジャスター脚を図のように回すことで、上方向に投写角度を調整できます。





**お願い :**
- 排気孔からは熱風が出ています。アジャスター脚を調整するときは、排気孔に直接手を触れないでください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「画面位置の調整」メニューの「台形補正」を行ってください。
  （☞37 ページ）

準備

## レンズシフト機能による設置位置変更

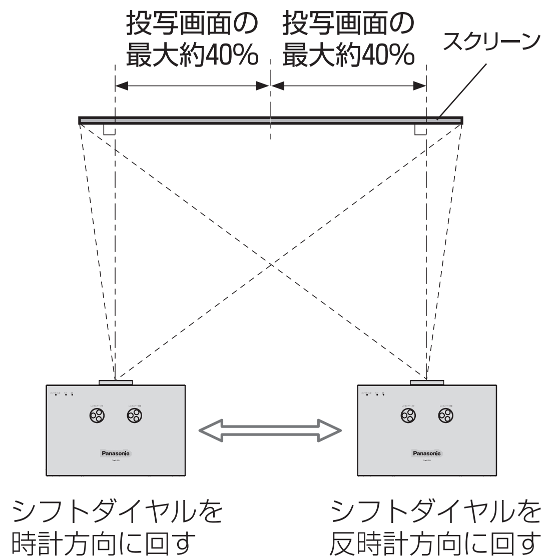
本機をスクリーン正面に設置できない場合は、レンズシフト機能を使い、投写画面がスクリーン位置に合うように調整してください。

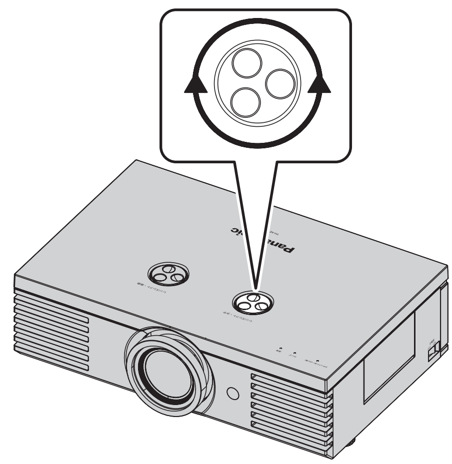
### ■レンズシフトの調整方法

**レンズシフトダイヤルを動かし調整する**

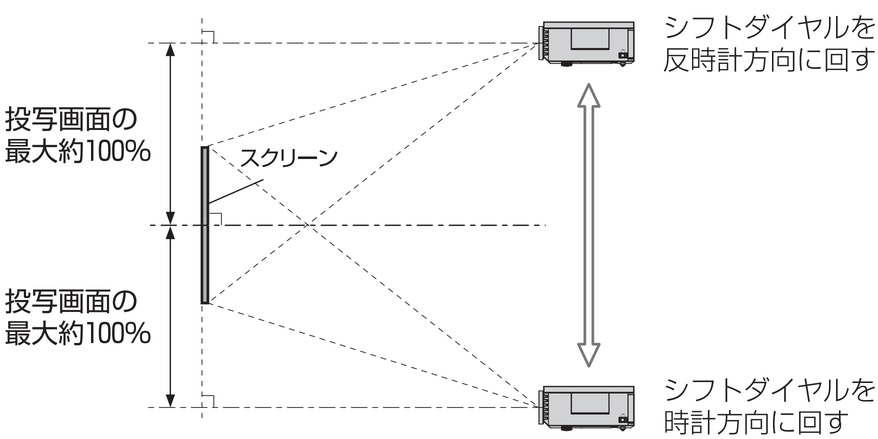
２つのレンズシフトダイヤルを使って投写位置を調整します。
（下図は床置きで前面に投写している場合の例）
レンズシフトダイヤルを回してカチッと音がする位置がほぼレンズ位置の中央となります。
レンズシフトは、左右方向に最大約 40%、上下方向に最大約 100%シフトすることができます。

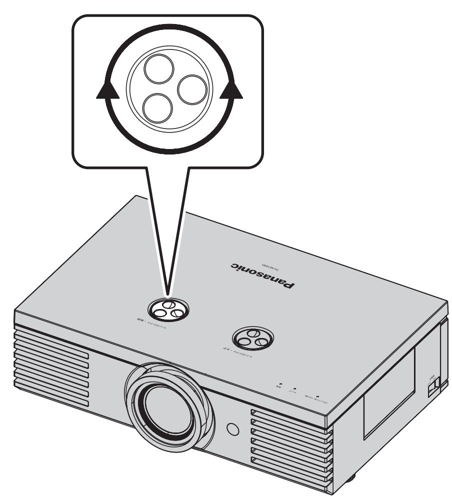
●水平位置を変更する
スクリーンと本機の設置位置に合わして、レンズシフトダイヤル・水平を回し、調整してください。



●垂直位置を変更する
スクリーンと本機の設置位置に合わして、レンズシフトダイヤル・垂直を回し、調整してください。



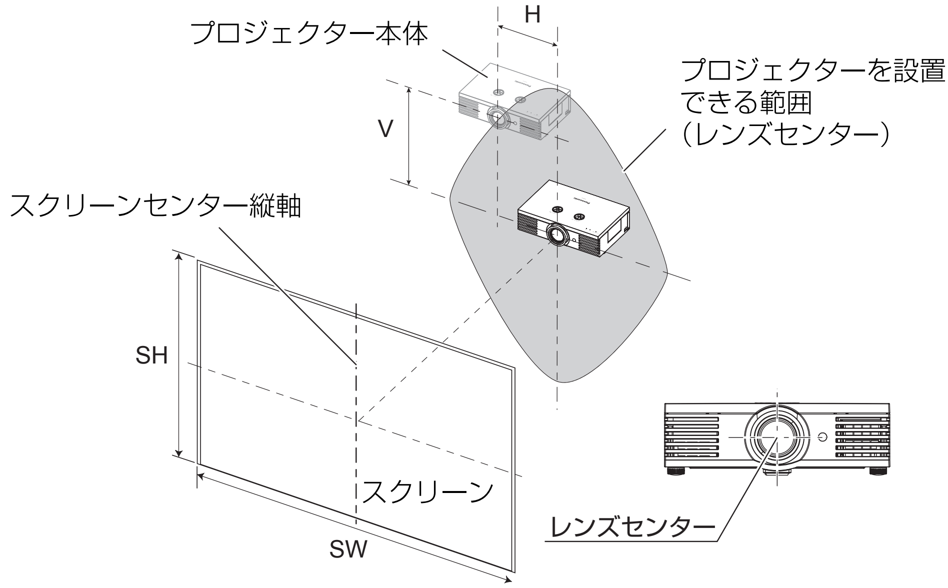



**お願い :**
- レンズシフトダイヤルは回し過ぎないでください。無理に回すと故障の原因となります。
  回転の目安はレンズ位置の中央から時計回り・反時計回りともに約４～５回転です。

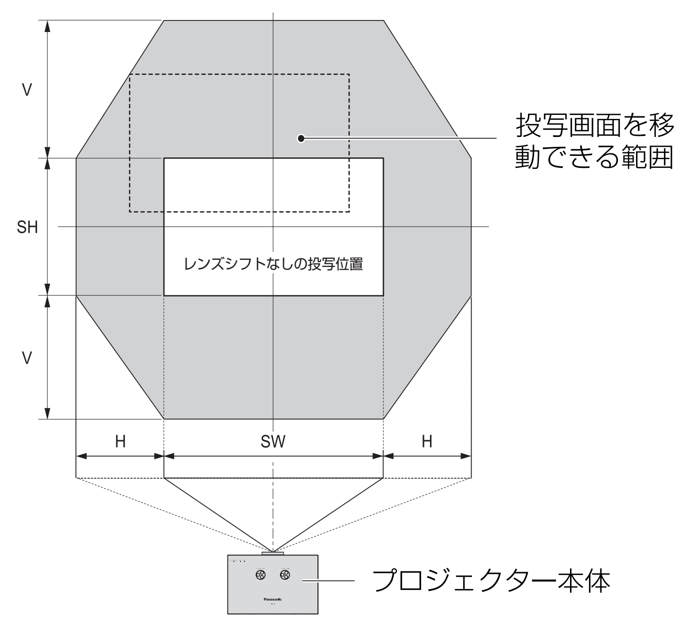
## ■レンズシフト機能による調整範囲

下記の範囲で設置位置を調整できます。
投写画面の高さ（SH）、幅（SW）の調整については「投写画面サイズと設置位置」を参照ください。
（☞14 ページ）

●スクリーンを基準としたときの、プロジェクターを設置できる範囲




●本体を基準としたときの、投写画面を移動できる範囲




| シフト方向 | 調整できる最大範囲 |
|---|---|
| 水平方向（H） | 左右に投写画面の幅（SW）の 約 40 % |
| 垂直方向（V） | 上下に投写画面の高さ（SH）の 約 100% |

**お知らせ :**

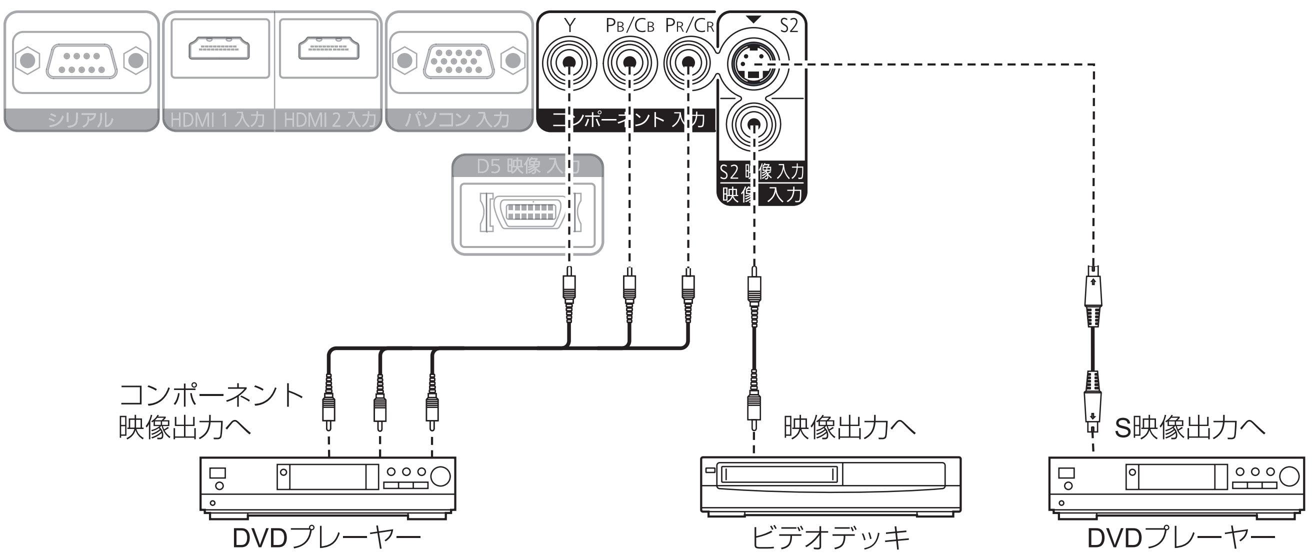
- レンズシフトダイヤル・水平を最大にレンズシフトしたときは、レンズシフトダイヤル・垂直は最大までレンズシフトすることはできません。同様に、レンズシフトダイヤル・垂直へ最大にレンズシフトしたときは、レンズシフトダイヤル・水平へは最大までレンズシフトすることはできません。
- プロジェクターを前または後ろに傾け、台形補正を使用して設置するときは、レンズセンターとスクリーンセンター縦軸を合わせてください。

# 接続する

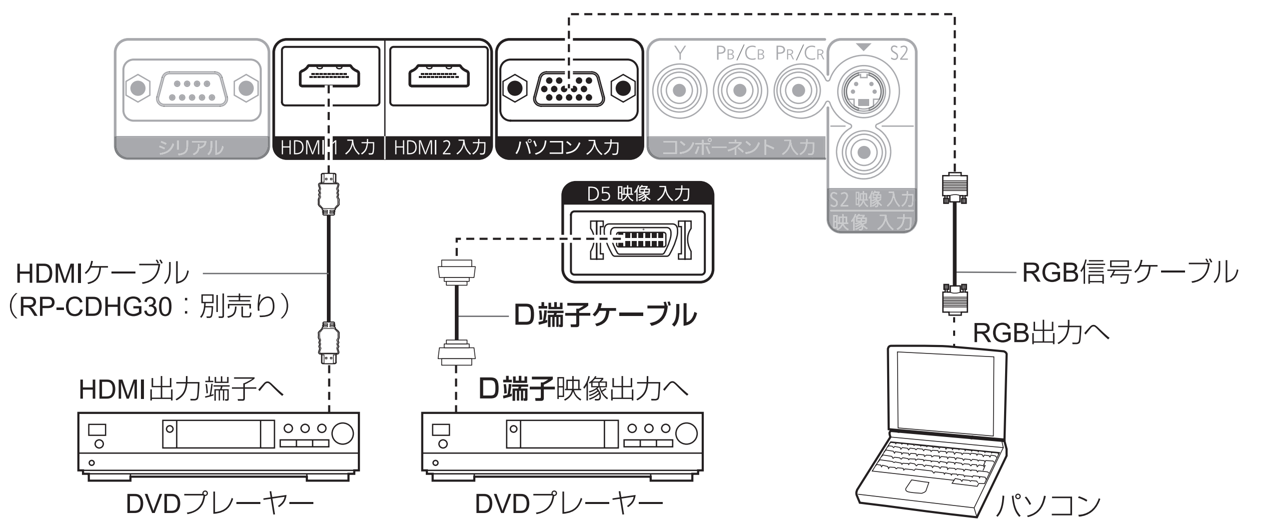
## 接続の前に

- 接続の際は、各機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてから接続を行ってください。
- 接続に必要なケーブルは、接続される機器に合わせて準備してください。
- 本機と接続できる映像信号については、「対応信号リスト」をご覧ください。（☞47 ページ）
- 音声入力端子はありませんので、接続される機器の音声はオーディオ機器などに接続してください。

## 映像入力端子、S2 入力端子、コンポーネント入力端子の接続




## HDMI 入力端子、D5 入力端子、パソコン入力端子の接続




**お知らせ :**

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合していることを確認してご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用したときには、映像が途切れる・映らないなど正常に動作しない場合があります。
  また、HDMI の 1080p 信号を接続するときは、1080p 信号に対応したケーブルを使用してください。
- 本機は HDMI/DVI 変換ケーブルを使用することで、DVI 端子がある外部機器とも接続することができますが、一部の機器では、映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- シリアル端子に接続する場合は、「シリアル端子について」（☞48 ページ）をご覧ください。
- D5 映像入力は「S2 映像」入力端子よりも、色のにじみが少なく高画質に再生できます。

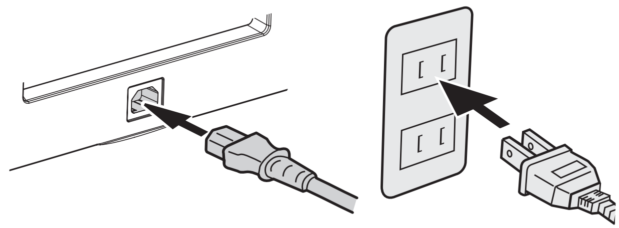
準備

# 電源を入れる / 切る

## 電源コードの接続

付属の電源コードを使用し、根元まで確実に差し込んでください。
取り扱いについて詳しくは「安全上のご注意」をご覧ください。（☞4 ～ 8 ページ）

### ■取り付け方



**1）本機後面の AC 入力端子（AC 入力～）と電源コードのコネクタの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込む**

**2）電源プラグをコンセントに差し込む**

### ■取り外し方

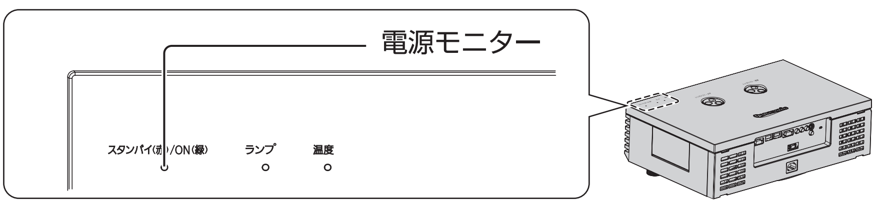
**1）本機側面の主電源スイッチがオフ（OFF）になっているのを確認し、コンセントから電源プラグを抜く**

**2）本機の AC 入力端子（AC 入力～）から電源コードのコネクタを抜く**

**お願い：**
- 電源コードを接続する前に、外部機器を接続してください。（☞18 ページ）

## 電源モニターについて

電源の状態を表示します。電源モニターの状態をよく確認し、操作してください。



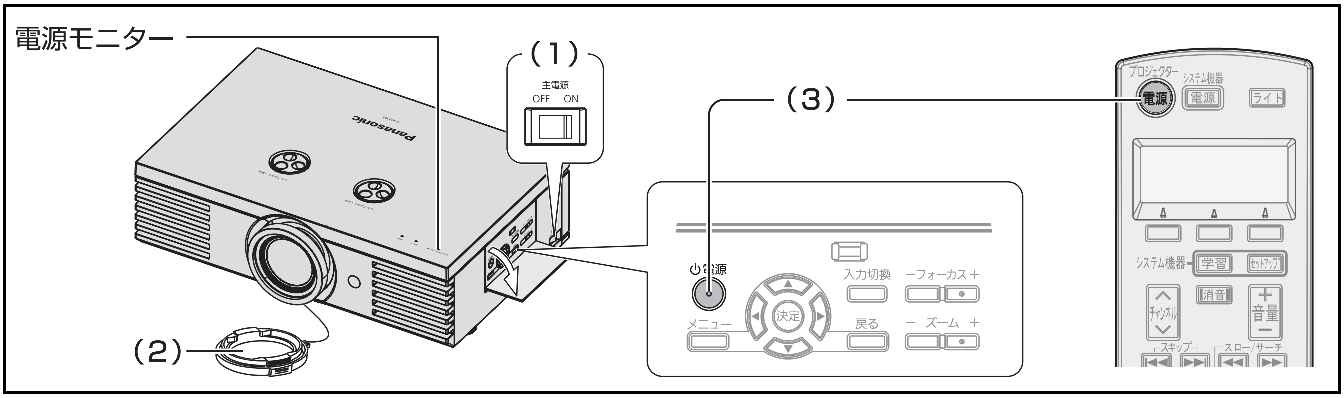

| 点灯状況 | | 本機の状態 |
|---|---|---|
| 消灯 | | 主電源オフ状態 |
| 赤色 | 点灯 | 電源オフ状態（スタンバイ）<br>電源ボタンで映像を投写します |
| 緑色 | 点滅 | 投写準備状態<br>しばらくすると映像を投写します |
| | 点灯 | 投写状態（ON） |
| オレンジ色 | 点灯 | 電源オフ準備状態<br>しばらくすると電源オフ状態になります |
| | 点滅 | 電源オフ準備状態に電源ボタンを押した状態<br>しばらくすると映像を投写します |

**お願い：**
- 電源オフ準備状態（電源モニターがオレンジ色に点灯）は、内部ファンが回転し、本機を冷却中です。主電源スイッチをオフにしたり電源コードを抜いたりしないでください。

**お知らせ：**
- 電源オフ準備状態に、電源ボタンを押したときは、投写状態になるまで時間がかかる場合があります。
- 電源オフ状態（電源モニターが赤色に点灯）でも約 0.08 W の電力を消費しています。

## 電源を入れる

電源を入れる前に機器の接続を確認してください。（☞18 ページ）




**(1) 主電源スイッチをオン（ON）にする**
電源モニターが赤色に点灯します。

**(2) レンズカバーを外す**
投写する際は、必ずレンズカバーを取り外してください。

**(3) 電源ボタンを押す**
電源モニターが緑色に点滅し、しばらくすると点灯に変わり、スタートアップロゴが投写されます。スタートアップロゴについては「その他の設定」メニューの「スタートアップロゴ」をご覧ください。（☞39 ページ）

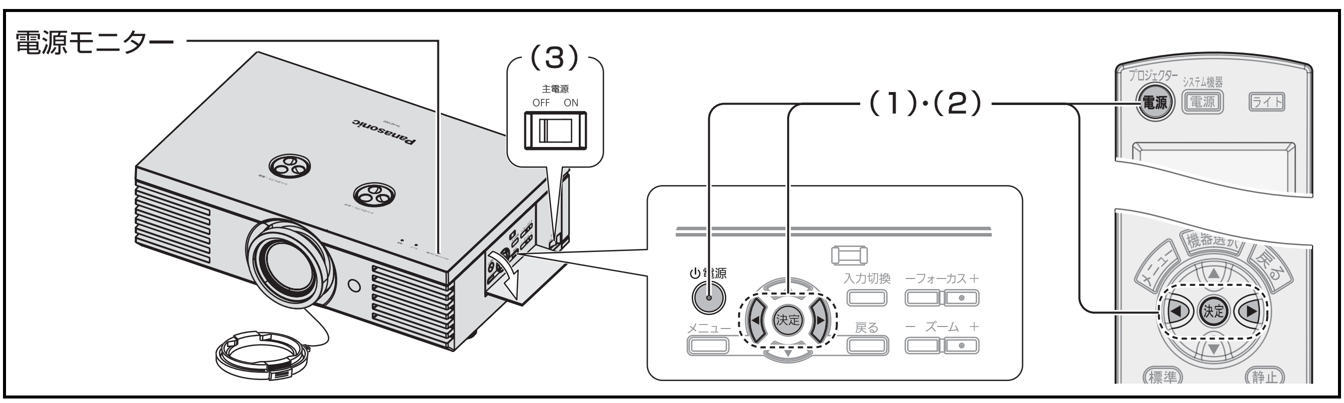
**お願い：**
レンズカバーに黒い紙などを貼りつける改造をしないでください。改造したレンズカバーをしたまま投写し続けると加熱され、火災の原因となることがあります。

- 電源を入れたときに「カタカタ」という音や、光源ランプ点灯時に「チリチリ」という音がしますが、これは故障ではありません。
- 映像投写中は、冷却ファンが回転し、動作音がします。また、外気温によっては動作音が変わることがあり、ランプ点灯時や消灯時には、動作音が大きくなります。
- 「その他の設定」メニューの「ランプパワー」を「エコモード」に設定すると、動作音が低減します。（☞41 ページ）



## 電源を切る

電源モニターの状態をよく確認し、操作してください。（☞19 ページ）




**(1) 電源ボタンを押す**
画面に電源オフ確認画面が表示されます。

**(2) もう一度電源ボタンを押す（または、◀▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す）**
ランプが消え映像の投写が停止。（冷却ファンは回転したままで、電源モニターがオレンジ色に点灯します。電源モニターが赤色に点灯するまでお待ちください。）

**(3) 主電源スイッチをオフ（OFF）にする**
冷却ファンが回転している間は絶対に主電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。

**お知らせ：**
- 電源オフ確認画面は「いいえ」を選ぶか、メニューボタンまたは、戻るボタンを押すと消えます。
- 電源ボタンを0.5 秒以上押しても電源を切ることができます。

# 投写する

外部機器の接続（☞18 ページ）、電源コードの接続（☞19 ページ）を確認し、電源を入れる（☞20 ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、投写の映り具合を調整してください。

## 投写する映像を選択する

### 1） 接続機器の電源を入れる

DVD プレイヤー等、接続機器の再生を行ってください。「その他の設定」メニューの「自動入力サーチ」が「オン」の場合は本機の電源を入れた時、自動的に入力中の信号をサーチし投写します。（☞40 ページ）

### 2） 映像の入力を切り換える

入力切換ボタンで選択した映像が投写されます。（☞22 ページ）

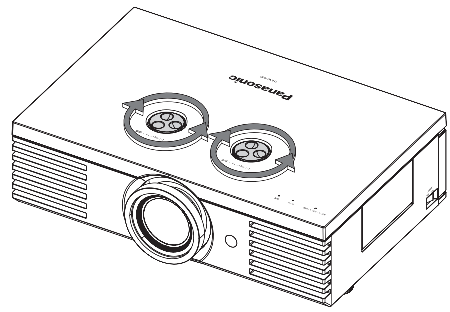
**お願い：**

- 接続機器や再生する DVD、ビデオテープなどによっては、「アドバンスドメニュー」の「カラー方式」を設定してください。（☞34 ページ）
- 投写するスクリーンと映像のアスペクト比を確認し、最適なアスペクト比に切り換えてください。（☞23 ページ）

## 投写の映り具合を調整する

### 1） レンズシフトを調整する

レンズシフトダイヤル（水平・垂直）で投写位置を調整します。

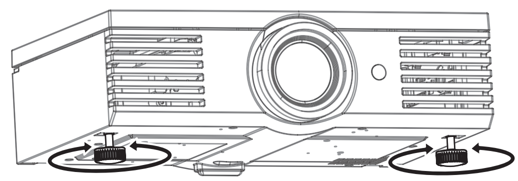



- 詳しくは「レンズシフト機能による設置位置変更」をご覧ください。（☞16 ページ）

### 2） 投写角度を調整する

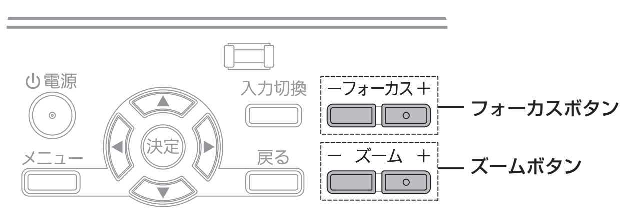
アジャスター脚を伸ばし、さらに上方向に投写角度を調整できます。

- 詳しくは「アジャスター脚による投写角度調整」をご覧ください。（☞15 ページ）



### 3） 投写サイズとピントを調整する

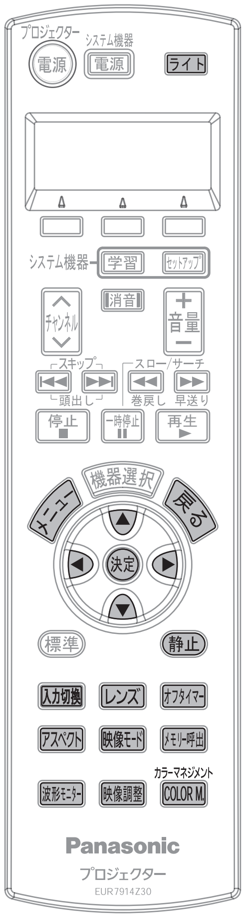
ズームボタン（＋・－）とフォーカスボタン（＋・－）を押して調整します。




**お知らせ：**

- より正確にピントを合わすには、「レンズコントロール」を表示して調整することをお勧めします。また、リモコンでも操作することができます。（☞38 ページ）
- フォーカスボタン（＋・－）を押すと、投写サイズが変わるのでズームボタン（＋・－）を押して、再度投写サイズを微調整します。

# リモコンで操作する




## 映像を一時的に静止させる

外部機器の再生に関係なく投写映像を一時的に静止することができます。

**静止 を押す**

もう一度押すと解除されます。

## 自動的に電源を切る

自動的にプロジェクターの電源を切る時間を設定できます。

**オフタイマー を押す**

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

オフ → 60分 → 90分 → 120分 → 150分 → 180分 → 210分 → 240分 → オフ

**お願い :**
- オンスクリーンメニューでも設定できます。詳しくは「その他の設定」メニューの「オフタイマー」をご確認ください。(☞40 ページ)

## 入力を切り換える

投写する入力を切り換えることができます。

**入力切換 を押す**

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

コンポーネント入力 → D5映像入力 → S２映像入力 → 映像入力 → HDMＩ１入力 → HDMＩ２入力 → パソコン入力 → コンポーネント入力

| | |
|---|---|
| コンポーネント入力 | コンポーネント入力端子に接続した信号<br>[コンポーネント信号 (YPBPR)] |
| D5 映像入力 | D5 映像入力端子に接続した信号<br>[D5 信号] |
| S2 映像入力 | S2 映像入力端子に接続した信号<br>[S ビデオ信号] |
| 映像入力 | 映像入力端子に接続した信号<br>[ビデオ信号] |
| HDMI １入力 | HDMI1 入力端子に接続した信号<br>[HDMI 信号] |
| HDMI ２入力 | HDMI2 入力端子に接続した信号<br>[HDMI 信号] |
| パソコン入力 | パソコン入力端子に接続した信号<br>[RGB 信号] |

「その他の設定」メニューの「入力ガイド」を「詳細表示」(☞39 ページ) にしているとき、画面右上部に入力端子のグラフィックが表示され、選択中の入力端子を確認できます。(選択中の入力端子は黄色で強調されます。)
このとき ▲▼◀▶ ボタンでも入力を切り換えることができます。
入力切り換え操作をしてから、映像が切り換わるまで、時間がかかる場合があります。

**お願い :**
- 「対応信号リスト」で記載している信号を入力してください。(☞47 ページ)

**お知らせ :**
- 入力端子については「接続する」をご覧ください。(☞18 ページ)
- 操作をしなければ入力ガイドの表示は自動的に消えます。
  「入力ガイド」が「詳細表示」のとき : 約 10 秒
  「入力ガイド」が「簡易表示」のとき : 約 5 秒
- 信号が入力されていない入力端子を選択した場合、入力端子のグラフィック全体が点滅し、お知らせします。入力されるまで表示します。

## 映像の縦横比（アスペクト比）を切り換える

入力に応じた、映像の縦横比（アスペクト）を切り換えることができます。

### アスペクト を押す

ボタンを押すごとに下表のように切り換わります。
現在選択している入力端子によって切り換わり方は異なります。

| 入力端子 | アスペクト |
|---|---|
| 映像 / S2 映像 / コンポーネント※（YPBPR）/D5 | オート → 4：3 → 16：9 → ジャスト → ズーム → オート |
| パソコン※（RGB） | 4：3 ←→ 16：9 |
| HDMI※ | 4：3 ←→ 16：9 |

※ 切り換わり方は信号によっても異なります。（☞36 ページ）

**お願い：**

- アスペクト比 4:3 の映像を 16:9 で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重した映像は、アスペクト比 4:3 でご覧ください。
- アスペクト比は、オンスクリーンメニューでも切り換えられます。詳しくは、「画面位置の調整」メニューの「アスペクト」をご確認ください。（☞36 ページ）

**お知らせ：**

- 入力している信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト比の切り換えを利用し、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。
- 「オート」に設定すると、入力信号にアスペクト比の識別信号が含まれている場合、自動的に最適なアスペクト設定に切り換えます。
- ビデオ、コンポーネント（YPBPR）の信号の場合、「オート」が表示されない場合があります。
- シネマビジョンサイズなどの 16:9 よりも横長の映像を投写すると上下に黒い領域ができる場合があります。
- 海外の放送方式の信号を受けたときは、対応するアスペクト比のモードが前記の表と異なります。

## 映像メニューを選ぶ（映像モード）

映像モードボタンで、お好みの映像設定に切り換えることができます。

### 映像モード を押す

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

ノーマル → ダイナミック → カラー１ → カラー２ → シネマ１ → シネマ２ → シネマ３ → ノーマル

**お知らせ：**

- オンスクリーンメニューでも切り換えられます。詳しくは「映像の調整」メニューをご確認ください。（☞31 ページ）

## 「映像の調整」画面を表示する

オンスクリーンメニューの「映像の調整」メニューのうち、設定を切り換えることができる項目が一行表示されます。

### 映像調整 を押す

ボタンを押すごとに「映像の調整」メニューと「アドバンスドメニュー」の項目に切り換わります。
▲▼ ボタンで調整したい項目を選択し、◀▶ で調整してください。

- 「映像の調整」メニューの調整できる項目
  映像メニュー、ピクチャー、黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネス、色温度設定、ダイナミックアイリス
- 「アドバンスドメニュー」の調整できる項目
  ガンマ、コントラスト、ブライト、ノイズリダクション、MPEG ノイズリダクション、シネマリアリティ、カラー方式

**お知らせ：**

- 調整方法など詳しくは「映像の調整」メニューをご確認ください。（☞31 ページ）
- 戻るボタンまたはメニューボタンを押すか、7 秒間操作をしなければ自動的に消えます。

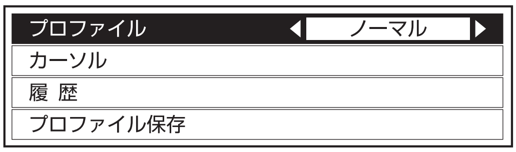
## カラーマネジメントで色を調整 / 選択する

選択中の「映像メニュー」（☞31 ページ）に対して、調整したい色をカーソルで選択し調整できます。調整した結果はお好みのプロファイルとして保存でき、呼び出すことができます。




**を押す**

「カラーマネジメント」メニューが表示されます。




### ■プロファイルを作成する

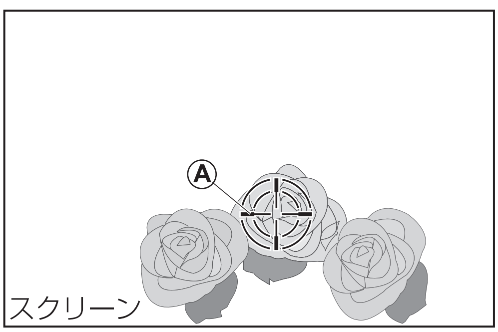
#### ●色を調整する

調整したい色をカーソルで選択し、調整します。

**1) ▲▼ ボタンで「カーソル」を選択する**

**2) 決定ボタンを押す**

十字カーソル Ⓐ が表示され、投写映像が静止します。

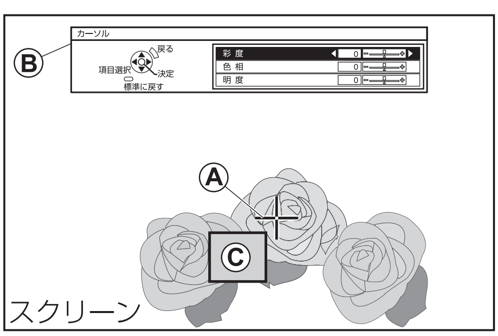



**3) ▲▼◀▶ ボタンで調整したいポイントを選択する**

十字カーソル中心部を投写映像の調整したいポイントに合わせてください。

**4) 決定ボタン押す**

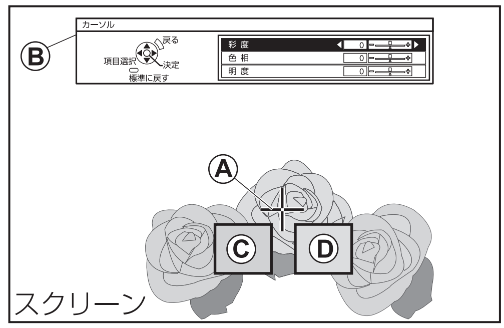
「カーソル」メニュー Ⓑ と、選択した色 Ⓒ が表示されます。




**5) ▲▼ ボタンで調整したい項目を選択し、◀▶ ボタンで調整する**

| | |
|---|---|
| 彩度 | 色の鮮やかさを調整する<br>● 設定可能範囲：- 30 ～＋ 30 |
| 色相 | 色調を調整する<br>● 設定可能範囲：- 30 ～＋ 30 |
| 明度 | 色の明るさを調整する<br>● 設定可能範囲：- 20 ～＋ 20 |

それぞれ工場出荷時の状態は「0」です。
調整すると、調整後の色 Ⓓ が表示されます。




**6) 決定ボタンを押す**

処理中は「実行中」と表示されます。
調整したポイントは「履歴」に最大 8 個まで記憶されます。続けて他の色を調整する場合は、戻るボタン、またはメニューボタンを押した後、再度、手順3）から操作してください。

**7) 戻るボタン、またはメニューボタンを 2 回押す**

「カラーマネジメント」メニューに戻ります。

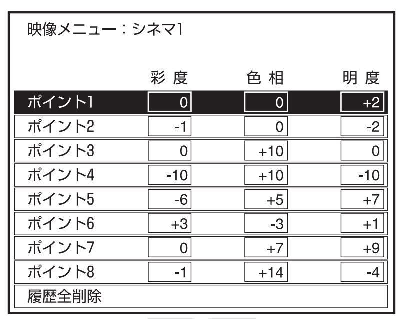
#### ●履歴内容を修正・削除する

履歴に記憶した調整を修正・削除することができます。

**1) ▲▼ ボタンで「履歴」を選択する**

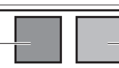
**2) 決定ボタンを押す**

「履歴」メニューが表示されます。



映像メニュー：シネマ1

| | 彩 度 | 色 相 | 明 度 |
|---|---|---|---|
| ポイント1 | 0 | 0 | +2 |
| ポイント2 | -1 | 0 | -2 |
| ポイント3 | 0 | +10 | 0 |
| ポイント4 | -10 | +10 | -10 |
| ポイント5 | -6 | +5 | +7 |
| ポイント6 | +3 | -3 | +1 |
| ポイント7 | 0 | +7 | +9 |
| ポイント8 | -1 | +14 | -4 |
| 履歴全削除 | | | |



選択した色 ―― ―― 調整後の色

| | |
|---|---|
| ポイント<br>１～８ | ▲▼ ボタンで変更したいポイントを選択し、決定ボタンを押すと、「変更」「削除」の選択画面が表示されます。<br>変更：<br>「カーソル」メニューが表示され、色の再編集ができます。<br>削除：<br>ポイントを削除します。<br>決定ボタンを押すと確認画面が表示され「はい」を選択して決定ボタンを押すと削除されます。 |
| 履歴全削除 | ▲▼ ボタンで「履歴全削除」を選択し、決定ボタンを押すと確認メッセージ「全ての履歴を削除します。」の画面が表示されます。<br>◀▶ ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押すと、ポイントが全て削除されます。ポイントを全て削除すると、プロファイルはノーマルになります。 |

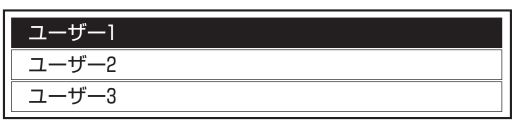
● **履歴内容をプロファイルとして保存する**

履歴内容をプロファイルとして保存します。プロファイルは最大３つまで保存できます。

**1) ▲▼ ボタンで「プロファイル保存」を選択する**

**2) 決定ボタンを押す**

「プロファイル保存」メニューが表示されます。



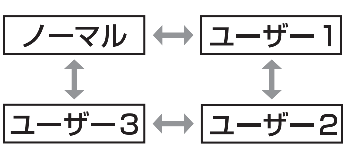

▲▼ ボタンで保存する場所を選択し、決定ボタンを押します。確認画面が表示され「はい」を選択して決定ボタンを押すとプロファイルとして保存されます。

## ■ プロファイルを選択する

保存したプロファイル（色を調整した結果）を選択します。プロファイルで設定した調整値が映像メニューに反映され、記憶されます。

**1) ▲▼ ボタンで「プロファイル」を選択する**

**2) ◀▶ ボタンでプロファイルを選択する**




| | |
|---|---|
| ノーマル | 映像メニューの設定となります。<br>工場出荷時の設定です。<br>（☞31 ページ） |
| ユーザー１～３ | プロファイルを保存しているときに表示されます。 |

**お知らせ：**

- 「カラーマネジメント」メニューは「映像の調整」メニューの「アドバンスドメニュー」からでも表示できます。（☞33 ページ）
- 「履歴」と「プロファイル保存」は調整前には表示されません。
- プロファイル保存時と呼び出し時の「映像メニュー」が同じときに、「カーソル」「プロファイル保存」は表示されます。またこのとき、「履歴」の内容を編集することができます。
- 同じ画面内の選択した色と同じ色や近い色も変化します。
- 白色や灰色、黒色は編集できません。
- 同じ色を、別々に異なる色に編集した場合は、お望みの色に編集できない場合があります。
- 調整できるポイントは最大８ポイントです。8 ポイント調整した履歴があると、「カーソル」が表示されません。
- 設定を保存すると、自動的に保存したプロファイルに切り換わります。続けて新しいプロファイルを作成するときは「プロファイル」を「ノーマル」に切り換えてから調整してください。
- プロファイルを保存する前に「カラーマネジメント」メニューを終了、またはプロファイルを変更しようとすると、保存確認画面が表示されます。ただし、入力信号の切り換えのときは確認画面が表示されず、調整内容が保存されません。

## ボタン照明を点灯させる

リモコンのボタン照明を点灯できます。

### ライト を押す

もう一度ライトボタンを押すと消えます。

**お知らせ：**

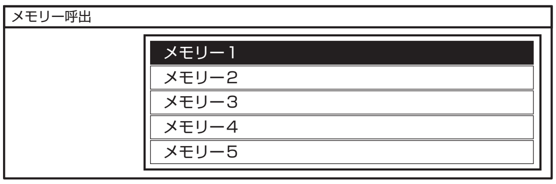
- 約 30 秒間操作しなければ、ボタン照明は自動的に消灯します。
- 自動的に消灯した後に、再度いずれかのボタンを押すとボタン照明は自動的に点灯します。

# リモコンで操作する（つづき）

## 保存した映像調整を呼び出す

「メモリー呼出し」メニューを表示します。

### [メモリー呼出] を押す




**お願い :**

- オンスクリーンメニューでも設定できます。詳しくは「映像の調整」メニューの「メモリー呼出」をご確認ください。(☞34 ページ)

## ズームとフォーカスを調整する

「ズーム / フォーカス」のテストパターン 1 が表示され、投写映像のサイズとピントを調整することができます。

### [レンズ] を押す

**お知らせ :**

- 調整方法など詳しくは「レンズコントロール」メニューをご確認ください。(☞38 ページ)

## 波形モニター

接続した外部入力機器の入力信号を波形表示することにより、映像出力（輝度）信号レベルが本機の推奨する範囲に納まっているかを確認し、調整ができます。

### [波形モニター] を押す

決定ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

全ライン表示（Y）→ 全ライン表示（R）→ 全ライン表示（B）→ 全ライン表示（G）→ ライン選択（Y）→ ライン選択（R）→ ライン選択（G）→ ライン選択（B）→ 全ライン表示（Y）

もう一度「波形モニター」ボタンを押すと波形モニターがオフになります。

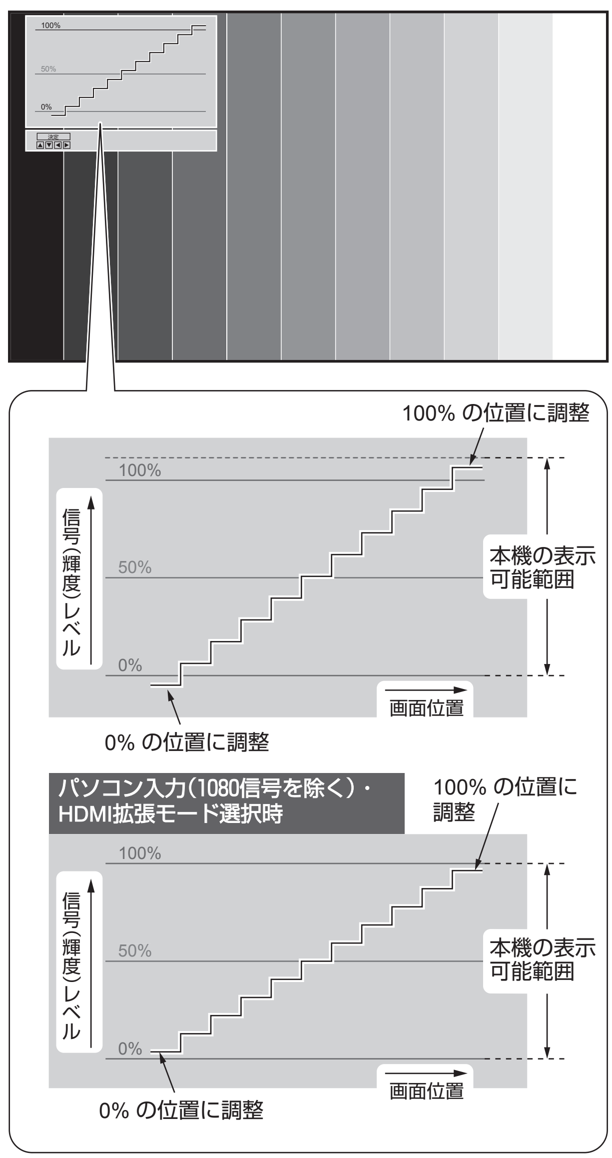
**お知らせ :**

- オンスクリーンメニューでも設定できます。(☞32 ページ)

| | |
|---|---|
| **全ライン表示** | 画面全体の（Y- 輝度 )、(R- 赤色 )、(G- 緑色 )、(B- 青色 ) のそれぞれが推奨する範囲に納まっているかを確認します。 |
| **ライン選択** | 画面の上部から下部までの任意の横ラインで（Y- 輝度 )、(R- 赤色 )、(G- 緑色 )、(B- 青色 ) のそれぞれが推奨する範囲に納まっているかを確認します。<br>●「全ライン表示」よりもさらに細かく確認ができます。<br>● ライン位置は ▲▼ ボタンで移動できます。<br>● ライン位置によって、波形モニター表示位置が変わります。 |

### ■波形を調整する

市販の調整用ディスクなどの輝度調整用信号
(0 %[0 IRE※または 7.5IRE] ～ 100 %[100 IRE])
を投写し、調整をおこないます



### 1）全ライン表示（Y- 輝度）／ライン選択（Y- 輝度）を調整する

●「映像の調整」にし、「黒レベル」、「ピクチャー」項目の順に ◀▶ **ボタン**で調整します。

| | |
|---|---|
| 黒レベル | 表示信号の黒レベル 0%<br>(0 IRE または 7.5IRE) を 0%の位置に調整する<br>● 設定可能範囲：- 32 ～＋ 32 |
| ピクチャー | 表示信号の白レベル 100%<br>（100 IRE）を 100%の位置に調整する<br>● 設定可能範囲：- 64 ～＋ 64 |

### 2）全ライン表示（R- 赤色）／ライン選択（R- 赤色）を調整する

●「アドバンスドメニュー」にし、「ブライト R」、「コントラスト R」項目の順に ◀▶ **ボタン**で調整します。

| | |
|---|---|
| ブライト R | 表示信号の黒レベル 0%<br>(0 IRE または 7.5IRE) を 0%の位置に調整する<br>● 設定可能範囲：- 16 ～＋ 16 |
| コントラスト R | 表示信号の白レベル 100%<br>（100 IRE）を 100%の位置に調整する<br>● 設定可能範囲：- 32 ～＋ 32 |

### 3）全ライン表示（G- 緑色）／ライン選択（G- 緑色）を調整する

●「アドバンスドメニュー」にし、「ブライト G」、「コントラスト G」項目の順に ◀▶ **ボタン**で調整します。

| | |
|---|---|
| ブライト G | 表示信号の黒レベル 0%<br>(0 IRE または 7.5IRE) を 0%の位置に調整する<br>● 設定可能範囲：- 16 ～＋ 16 |
| コントラスト G | 表示信号の白レベル 100%<br>（100 IRE）を 100%の位置に調整する<br>● 設定可能範囲：- 32 ～＋ 32 |

### 4）全ライン表示（B- 青色）／ライン選択（B- 青色）を調整する

●「アドバンスドメニュー」にし、「ブライト B」、「コントラスト B」項目の順に ◀▶ **ボタン**で調整します。

| | |
|---|---|
| ブライト B | 表示信号の黒レベル 0%<br>(0 IRE または 7.5IRE) を 0%の位置に調整する<br>● 設定可能範囲：- 16 ～＋ 16 |
| コントラスト B | 表示信号の白レベル 100%<br>（100 IRE）を 100%の位置に調整する<br>● 設定可能範囲：- 32 ～＋ 32 |

**お知らせ：**

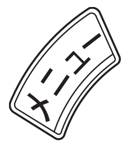
- 波形モニター上において0%以下の信号は映像上では 0%として表示されます。
- 「ライン選択」は、全ライン表示よりもさらに細かく画面上部から下部までの横ラインを（Y- 輝度）、（R- 赤色）、（G- 緑色）、（B- 青色）で表示することができ、各項目で「全ライン表示」と同じように調整することができます。
- 全ライン表示をしている場合に▲▼◀▶ボタンで入力波形の表示位置を設定します。
- 「波形モニター」を表示した場合、「カラーマネジメント」は無効になりますので、色の見え方が変わる場合があります。
- 「波形モニター」はオンスクリーン表示（映像調整の個別調整画面（☞30 ページ）および「波形モニター」メニュー（☞32 ページ）を除く）がされている場合は、静止状態になります。
  また、「オンスクリーン」メニューの表示が「波形モニター」に干渉しないよう、メニューの表示位置はその時の状態によって変更されます。

# オンスクリーンメニューについて

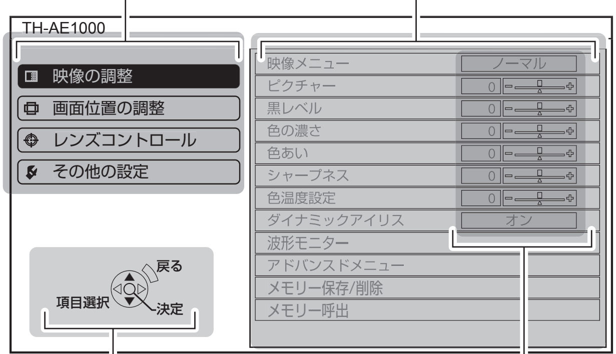
本機の各種設定や調整はオンスクリーンメニューを使用します。オンスクリーンメニュー操作については、「メニュー画面の操作方法」をご確認ください。（☞30 ページ）

## オンスクリーンメニュー

オンスクリーンメニューが表示されます。
オンスクリーンメニューは、メインメニューとサブメニューで構成されています。



**を押す**




各メニューの操作方法が表示されます。

## メインメニュー

メインメニューには以下の４つの項目があります。
メインメニューを選択するとサブメニューの選択画面に移ります。

| | |
|---|---|
|  | 映像の調整 |
|  | 画面位置の調整 |
|  | レンズコントロール |
|  | その他の設定 |

## サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

### ■映像の調整 [▣]

項目の詳細（☞31 ～ 34 ページ参照）

● S2 映像入力 / 映像入力時

| サブメニュー項目 | 工場出荷時 |
|---|---|
| 映像メニュー | ノーマル |
| ピクチャー | 0 |
| 黒レベル | 0 |
| 色の濃さ | 0 |
| 色あい | 0 |
| シャープネス | 0 |
| 色温度設定 | 0 |
| ダイナミックアイリス | オン |
| 波形モニター | ― |
| アドバンスドメニュー | ― |
| メモリー保存 / 削除 | ― |
| メモリー呼出 | ― |

● パソコン入力/コンポーネント入力/D5映像入力/HDMI 入力時

| サブメニュー項目 | 工場出荷時 |
|---|---|
| 映像メニュー | ノーマル |
| ピクチャー | 0 |
| 黒レベル | 0 |
| 色の濃さ | 0 |
| 色あい | 0 |
| シャープネス | 0 |
| 色温度設定 | 0 |
| ダイナミックアイリス | オン |
| 波形モニター | ― |
| アドバンスドメニュー | ― |
| メモリー保存 | ― |
| メモリー呼出 | ― |
| 表示モード | |

**お知らせ :**
- 映像メニューによって工場出荷時の値が異なる場合があります。

## ■画面位置の調整 [ ]

項目の詳細（☞35 ～ 37 ページ参照）

● S2 映像入力 / 映像入力時

| サブメニュー項目 | 工場出荷時 |
|---|---|
| 水平画面位置 | 0 |
| 垂直画面位置 | 0 |
| アスペクト | オート |
| WSS | オン |
| オーバースキャン | +7 |
| 台形補正 | 0 |

● コンポーネント入力 /D5 映像入力時

| サブメニュー項目 | 工場出荷時 |
|---|---|
| 水平画面位置 | 0 |
| 垂直画面位置 | 0 |
| クロック位相 | 0 |
| アスペクト | オート |
| WSS | オン |
| オーバースキャン | +7 |
| 台形補正 | 0 |

● パソコン入力時

| サブメニュー項目 | 工場出荷時 |
|---|---|
| 水平画面位置 | 0 |
| 垂直画面位置 | 0 |
| クロック調整 | 0 |
| クロック位相 | 0 |
| アスペクト | 16 : 9 |
| 台形補正 | 0 |
| 自動位置調整 | ― |

● HDMI 入力時

| サブメニュー項目 | 工場出荷時 |
|---|---|
| 水平画面位置 | 0 |
| 垂直画面位置 | 0 |
| アスペクト | 16 : 9 |
| オーバースキャン | 0 |
| 台形補正 | 0 |

## ■レンズコントロール [ ]

項目の詳細（☞38 参照）

| サブメニュー項目 | 工場出荷時 |
|---|---|
| ズーム / フォーカス | ― |

## ■その他の設定 [ ]

項目の詳細（☞39 ～ 41 ページ参照）

| サブメニュー項目 | 工場出荷時 |
|---|---|
| 入力ガイド | 詳細表示 |
| OSD デザイン | タイプ 1 |
| OSD ポジション | 中央 |
| バックカラー | ブルー |
| スタートアップロゴ | オン |
| 自動入力サーチ | オン |
| HDMI 信号レベル | 通常 |
| 設置方法 | フロント / 床置き |
| オフタイマー | オフ |
| ファン制御 | 標準 |
| ランプパワー | ノーマル |
| ランプ使用時間 | ― |
| ファンクションボタン | ― |

**お知らせ :**

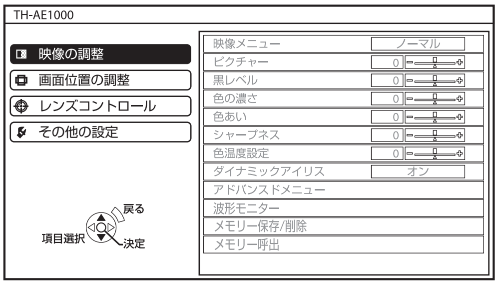
● サブメニューの項目および、工場出荷時の値は、入力端子の選択により表示が異なります。

## メニュー画面の操作方法

### ■操作の手順

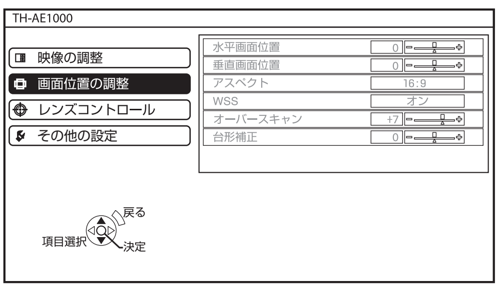
**1）メニューボタンを押す**

メインメニューが表示されます。



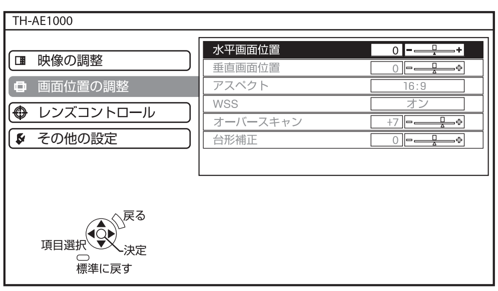

**2）▲▼ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ**

「映像の調整」「画面位置の調整」「レンズコントロール」「その他の設定」の4つの項目から調整したい項目を選んでください。選択中の項目はオレンジ色のカーソルで示され、選択した項目のサブメニューが右側に表示されます。



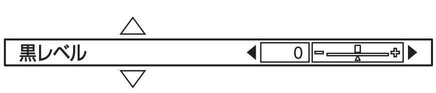

**3）決定ボタンを押す**

サブメニューが表示され、サブメニューの項目を選択できるようになります。




**4）▲▼ ボタンを押して変更したいサブメニューの項目を選び、◀▶ を押して設定の切り換えや調整を行う**

設定を切り換える項目とバースケールのある項目では、メニュー画面が消え、下図のように選択中の項目（個別調整画面）のみが表示されます。




項目名のみの項目は、決定ボタンを押すと、次の画面が表示され、詳細な設定ができます。

**お知らせ：**
- メニュー画面が表示されている状態で戻るボタンまたはメニューボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 入力される信号によって、調整できない項目や使用できない機能があります。
- サブメニューの項目については ☞28 ～ 29 ページをご覧ください。

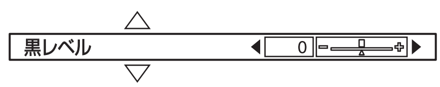
### ■調整値を工場出荷時の状態に戻す

リモコンの標準ボタンを押すと、設定・調整の値が工場出荷時の状態に戻ります。

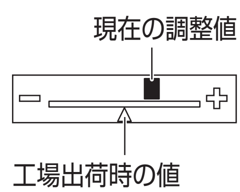
**（標準）を押す**

表示されている画面によって動作が異なります。

- サブメニュー画面表示時
  表示されているサブメニューの項目が工場出荷時の状態に戻ります。
- 個別調整画面表示時
  調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻ります。




**お知らせ：**
- 全ての設定を一括に工場出荷時の状態には戻せません。
- 標準ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。
- 個別調整画面のバースケールの下の三角マークは、工場出荷時の状態を示しています。
  また、三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。



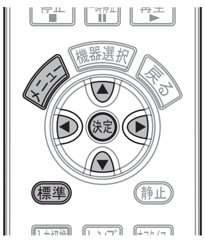

調整と設定

# 「映像の調整」メニューについて

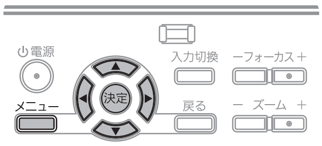
**「メニュー画面の操作方法」（☞30 ページ）のメインメニューから「映像の調整」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。**

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで映像の調整を行ってください。

リモコン




本体操作部

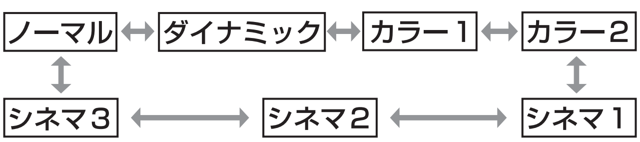



## 映像メニュー

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像に設定することができます。

**設定を切り換える**  **設定を切り換える**

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。




| | |
|---|---|
| **ノーマル** | 一般的な映像（スポーツ、ゲームなど）をご覧になる場合 |
| **ダイナミック** | より明るく、くっきりした画質でご覧になる場合 |
| **カラー１** | HDVD 規格 (ITU-R BT.709) の色温度 6500K に対応した映像モード（但し、映像メニューの各種設定値が初期設定値の場合） |
| **カラー２** | DCDM 規格の色温度 6300K に対応した映像モード（但し、映像メニューの各種設定値が初期設定値の場合） |
| **シネマ 1** | 米国ハリウッドのトップカラーリストとつくりこんだモード。映画をしっとりとした画質でご覧になる場合 |
| **シネマ 2** | 映画を深みのある画質でご覧になる場合 |
| **シネマ３** | アクション映画やアニメなど、あざやかな映画をくっきりした画質でご覧になる場合 |

**お知らせ :**
- 映像メニューを切り換えた際に、映像が安定するまで数秒かかる場合があります。

## ピクチャー

色の明暗度を調整します。

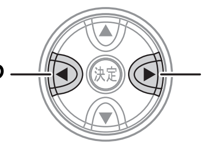
**暗く**  **明るく**

- 設定可能範囲：- 64 ～＋ 64

**お願い :**
- 黒レベルを調整する必要がある場合は、黒レベルを先に調整してください。

## 黒レベル

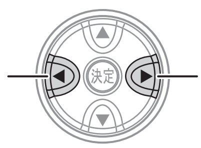
画面の暗い部分（黒色）を調整します。

**黒浮きを抑える**  **黒つぶれを抑える**

- 設定可能範囲：- 32 ～＋ 32

## 色の濃さ

色の濃さを調整します。

**うすく**  **濃く**

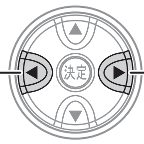
- 設定可能範囲：- 32 ～＋ 32

**お知らせ :**
- パソコン信号入力時は、1 125 (1 080)/60i、1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/60p、1 125 (1 080)/50p 信号のみ調整が行えます。

# 「映像の調整」メニューについて（つづき）

## 色あい

肌色の部分を調整します。




- 設定可能範囲：- 32 ～ + 32

**お知らせ :**
- パソコン信号入力時は、1 125 (1 080)/60i、1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/60p、1 125 (1 080)/50p 信号のみ調整が行えます。

## シャープネス

映像のシャープ感を調整します。




**お知らせ :**
- 設定可能範囲は入力信号によって異なります。

## 色温度設定

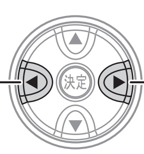
映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に調整します。




- 設定可能範囲：- 6 ～ + 6

## ダイナミックアイリス

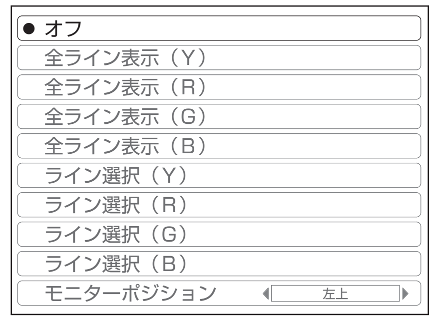
映像に合わせてランプ制御、光量絞り（アイリス）制御をします。暗部のよく引き締まった、メリハリ感のある映像表現に補正します。




| | |
|---|---|
| **オン** | ダイナミックアイリス有効 |
| **オフ** | ダイナミックアイリス無効 |

## 波形モニター

市販の調整用ディスクなどを使用し、接続した外部入力機器からの出力（輝度）信号レベルを本機の推奨する値の範囲内に設定することで、本機の表示性能をより発揮するように調整できます。




**1） ▲▼ ボタンで調整する項目を選ぶ**

**2） 決定ボタンを押す**

**3） 戻るボタンを押す**
- 「映像の調整」で項目を選び、調整します。

### ■モニターポジション

全ライン表示をしている時に ▲▼◀▶ ボタンで入力波形の表示位置を設定します。

**お知らせ :**
- 詳しくは「リモコンで操作する」の「波形モニター」をご覧ください。（☞26 ページ）

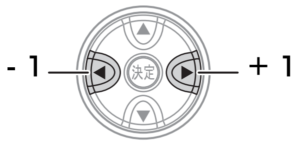
調整と設定

## アドバンスドメニュー

映像をさらに詳細に調整することができます。
決定ボタンを押すと「アドバンスドメニュー」が表示されます。

### ■ガンマ

明るい（高レベル）、中間（中レベル）、暗い（低レベル）シーンの階調を調整します。

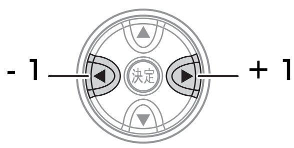



| アドバンスドメニュー項目 | 工場出荷時 |
|---|---|
| ガンマ高レベル | 0 |
| ガンマ中レベル | 0 |
| ガンマ低レベル | 0 |

● 設定可能範囲：- 8 ～ + 8

### ■コントラスト

主に白色を中心とした色温度を調整します。
R（赤色）、G（緑色）、B（青色）

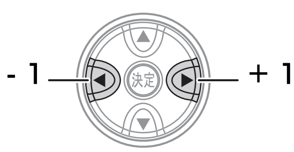



| アドバンスドメニュー項目 | 工場出荷時 |
|---|---|
| コントラスト R | 0 |
| コントラスト G | 0 |
| コントラスト B | 0 |

● 設定可能範囲：- 32 ～ + 32

### ■ブライト

主に黒色を中心とした色温度を調整します。
R（赤色）、G（緑色）、B（青色）




| アドバンスドメニュー項目 | 工場出荷時 |
|---|---|
| ブライト R | 0 |
| ブライト G | 0 |
| ブライト B | 0 |

● 設定可能範囲：- 16 ～ + 16

### ■カラーマネジメント

選択中の「映像メニュー」（☞31 ページ）に作成したプロファイルを設定できます。

**お知らせ :**

● 詳しくは「カラーマネジメントで色を調整 / 選択する」をご覧ください。（☞24 ページ）

### ■ノイズリダクション

入力信号が劣化している際に生じるノイズを除去することができます。




| | |
|---|---|
| **オン** | ノイズリダクション有効 |
| **オフ** | ノイズリダクション無効 |

**お願い :**

● 劣化が少ない入力信号に「ノイズリダクション」を「オン」に設定すると、映像がイメージと異なる場合があります。その際は「オフ」に設定してください。

### ■MPEG ノイズリダクション

MPEG（☞54 ページ）圧縮された映像を投写する際に生じるノイズを除去することができます。



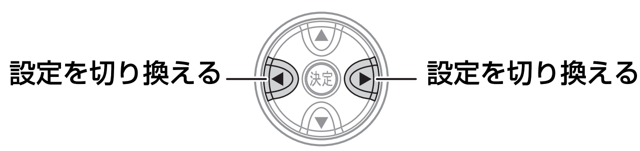

| | |
|---|---|
| **オン** | MPEG ノイズリダクション有効 |
| **オフ** | MPEG ノイズリダクション無効 |

**お願い :**

● MPEG 映像以外を投写する場合は、「オフ」に設定してください。
● パソコン / HDMI（VGA60）の信号には対応していません。

### ■シネマリアリティ

映画など毎秒 24 コマで撮影された映像を忠実に投写したいときに設定します。




| | |
|---|---|
| **オン** | シネマリアリティ有効 |
| **オフ** | シネマリアリティ無効 |

**お知らせ :**

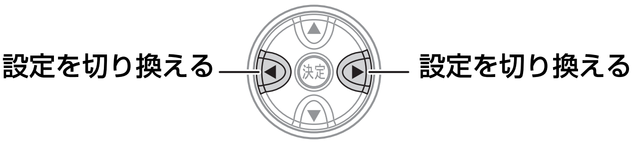
● インターレース信号のみに対応します。

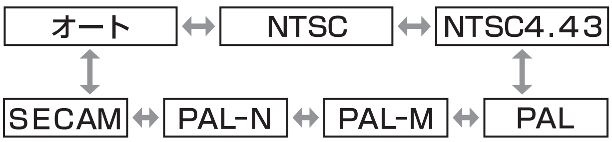
**お願い :**

●「オン」の設定でテロップ文字のにじみが発生する場合は「オフ」に設定してください。

## ■ カラー方式（S2 映像入力 / 映像入力のみ）

入力信号に合ったカラー方式を設定します。




**お願い :**

- 通常は「オート」に設定してください。
- 古いビデオテープなど入力信号が劣化しているために、正常な映像が映らない場合は、それぞれのカラー方式に設定を切り換えてください。日本国内では NTSC（☞54 ページ）の信号方式が使われています。

**お知らせ :**

- 「オート」は、NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL60/PAL-N/SECAM の中から自動的に判別します。

## メモリー保存 / 削除

決定ボタンを押すと、「メモリー保存 / 削除」メニューが表示されます。映像調整した設定内容（調整値）をお気に入りとして保存することができます。

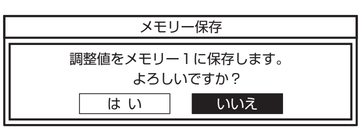



★ : 保存している場合
☆ : 保存していない場合

### 1） ▲▼ ボタンで保存する番号を選ぶ

### 2） 決定ボタンを押す

「メモリー保存」確認画面が表示されます。




### 3） ◀▶ ボタンで「はい」を選ぶ

### 4） 決定ボタンを押す

| | |
|---|---|
| メモリー全削除 | ▲▼ ボタンで「メモリー全削除」を選択し、決定ボタンを押すと確認メッセージ「全てのメモリーを削除します。」の画面が表示されます。◀▶ ボタンで「はい」を選択すると、メモリーが全て削除されます。 |

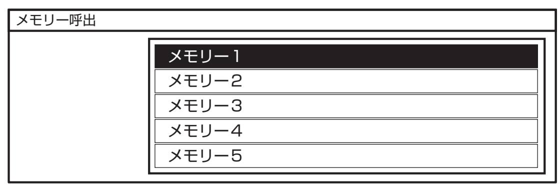
**お知らせ :**

- メモリー保存は、下記の 2 つの区分でそれぞれ5つまで保存できます。（合わせて 10 個まで保存可能）
- 保存したメモリーの個別削除はできません。

| |
|---|
| S ビデオ、ビデオ、コンポーネント、D5、HDMI（ただし VGA480 の信号は除く。）、パソコンの 1 125 (1 080)/60i、1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/60p、1 125 (1 080)/50p の信号。 |
| パソコンの信号。（ただし 1 125 (1 080)/60i、1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/60p、1 125 (1 080)/50p の信号は除く。）HDMI の VGA480 の信号。 |

## メモリー呼出

決定ボタンを押すと、「メモリー呼出」メニューが表示されます。「メモリー保存」で登録した内容を呼び出すことができます。




### 1） ▲▼ ボタンで呼び出す番号を選ぶ

### 2） 決定ボタンを押す

呼び出した番号の映像調整に切り換わります。

**お知らせ :**

- 「メモリー保存」で設定を保存していない場合や「メモリー全削除」をおこなった場合は、「メモリー呼出」の項目は表示されません。
- リモコンでの呼び出し方法については、「リモコンで操作する（保存した映像調整を呼び出す）」をご覧ください。（☞26 ページ）

## 表示モード（パソコン / コンポーネント / D5/HDMI 入力のみ）

現在投写している信号名を表示します。

**お知らせ :**

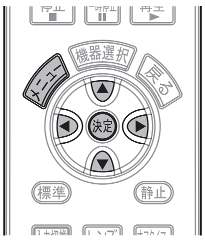
- 信号の詳細については「対応信号リスト」の表をご覧ください。（☞47 ページ）

# 「画面位置の調整」メニューについて

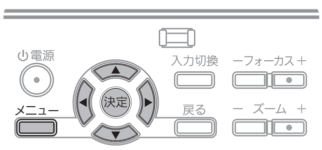
**「メニュー画面の操作方法」（☞30 ページ）のメインメニューから「画面位置の調整」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。**

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで映像の調整を行ってください。

リモコン




本体操作部




## 水平画面位置

映像を左右に調整します。

**左に移動**




**右に移動**

## 垂直画面位置

映像を上下に調整します。

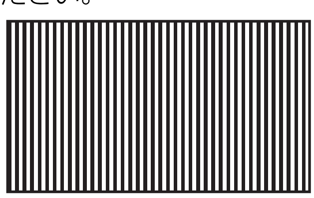
**下に移動**




**上に移動**

## クロック調整（パソコン入力のみ）

縦縞模様を投写した際に発生するノイズを軽減する際に調整します。
下記のような縞模様を投写した場合に、周期的な縞模様（ノイズ）が発生する場合があります。この場合に ◀▶ ボタンでもっともノイズが少なくなるように調整してください。



**お願い :**

- クロック位相より先に調整してください。

## クロック位相（パソコン / コンポーネント / D5 映像入力のみ）

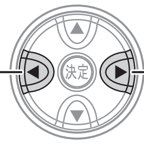
クロック調整後さらにノイズを軽減させることができます。
◀▶ ボタンでもっともノイズが目立たなくなるように調整してください。

**お知らせ :**

- ドットクロック周波数が 150 MHz 以上の信号を投写時は、「クロック調整」や「クロック位相」を調整してもノイズがなくならない場合があります。
- コンポーネント（YPBPR）/D5 信号入力時は、1 125 (1 080)/60i、1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/60p、1 125 (1 080)/50p、1 125 (1 080)/24p、750 (720)/60p、750 (720)/50p 信号時のみ調整が行えます。(D5 入力された信号によっては、調整できない場合があります。)

## アスペクト

映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えます。
入力する信号によって下図のように切り換わります。

設定を切り換える  設定を切り換える



### ■ビデオ /S ビデオ信号

オート ↔ 4：3 ↔ 16：9
↳ ズーム ↔ ジャスト ↲

### ■パソコン（RGB）信号

4：3 ←→ 16：9

**お知らせ :**

- WIDE480/600/720/768/768-2/800/900 信号の場合は、アスペクト比が固定されているため切り換えできません。

### ■HDMI 信号

4：3 ←→ 16：9

**お知らせ :**

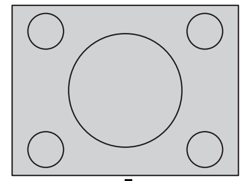
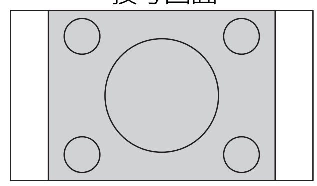
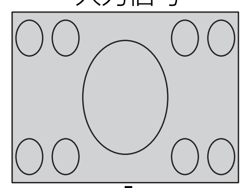
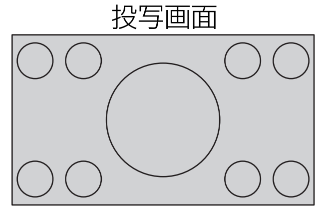
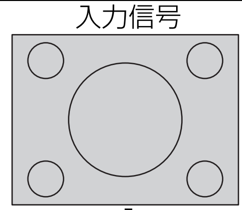
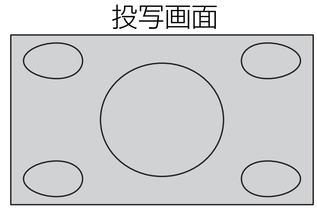
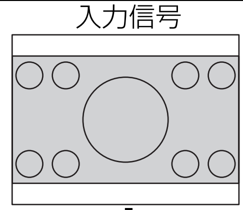
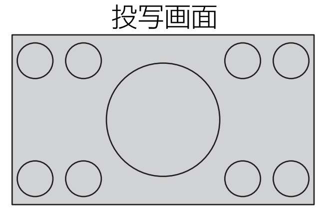
- 1 125 (1 080)/60i、1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/60p、1 125 (1 080)/50p、1 125 (1 080)/24p、750 (720)/60p、750 (720)/50p 信号の場合は、16:9 ➡ H フィット ➡ V フィット ➡ ズームの順に切り換わります。
- 525p (480p)、625p (576p) 信号の場合は、4:3 ➡ 16:9 ➡ ジャスト ➡ ズームの順に切り換わります。

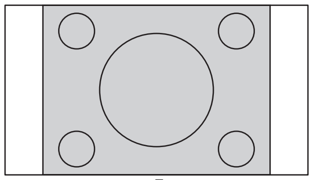
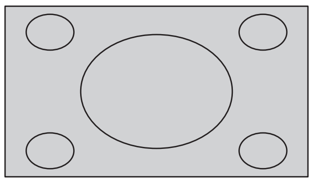
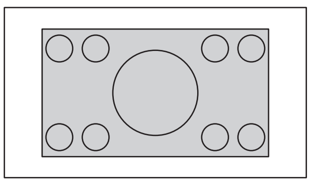
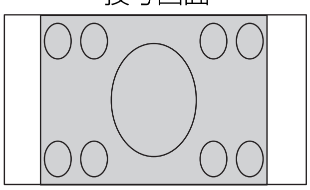
### ■コンポーネント (YPBPR)/ D5 映像信号

オート ↔ 4：3 ↔ 16：9
↳ ズーム ↔ ジャスト ↲

**お知らせ :**

- 1 125 (1 080)/60i、1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/60p、1 125 (1 080)/50p、1 125 (1 080)/24p、750 (720)/60p、750 (720)/50p 信号の場合は、16:9 ➡ H フィット ➡ V フィット ➡ ズームの順に切り換わります。
(D5 入力された信号によっては、調整できない場合があります。)

| アスペクト | 画面 |
|---|---|
| **4:3**<br>アスペクト比を 4:3 にして投写します。 | 入力信号<br><br>⬇<br>投写画面<br> |
| **16:9**<br>アスペクト比を 16:9 にして投写します。（横方向に拡大） | 入力信号<br><br>⬇<br>投写画面<br> |
| **ジャスト**<br>アスペクト比を 16:9 にして投写します。アスペクト比 4:3 の映像を投写する場合、画面中心部の歪みが少なくなります。（横方向に拡大） | 入力信号<br><br>⬇<br>投写画面<br> |
| **ズーム**<br>アスペクト比を固定したまま拡大します。投写映像が切れて表示される場合がありますが、映像を忠実に再現できます。<br>▲▼ボタンで垂直位置を調整することができます。<br>（調整前にメニュー画面を消してください。） | 入力信号<br><br>⬇<br>投写画面<br> |

| アスペクト | 画面 |
|---|---|
| **H- フィット**<br><br>アスペクト比を 16:9 にして投写します。<br>（横方向に拡大）<br>1 125 (1 080)/60i、<br>1 125 (1 080)/50i、<br>1 125 (1 080)/60p、<br>1 125 (1 080)/50p、<br>1 125 (1 080)/24p、<br>750 (720)/60p、<br>750 (720)/50p の信号のみ。 | 入力信号<br><br>⬇<br>投写画面<br> |
| **V - フィット**<br>アスペクト比を 16:9 にして投写します。<br>（縦方向に拡大）<br>▲▼ボタンで垂直位置を調整することができます。<br>（調整前にメニュー画面を消してください。）<br>1 125 (1 080)/60i、<br>1 125 (1 080)/50i、<br>1 125 (1 080)/60p、<br>1 125 (1 080)/50p、<br>1 125 (1 080)/24p、<br>750 (720)/60p、<br>750 (720)/50p の信号のみ。 | 入力信号<br><br>⬇<br>投写画面<br> |

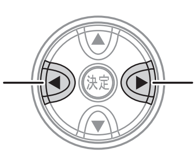
## WSS

欧州の放送方式で入力信号に識別信号があれば、自動的にアスペクト比を切り換えます。
（☞54 ページ 用語集）

**お知らせ :**
- PAL/625i (576i)/625p (576p) 信号入力時のみアスペクト比が切り換わります。

## オーバースキャン

投写映像の周辺で文字や映像が欠ける場合に調整します。

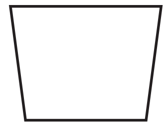
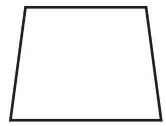
**映像を縮小**  **映像を拡大**


- 設定可能範囲：0 ～＋ 10

**お知らせ :**
- パソコン信号入力以外で調整できます。

## 台形補正

本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いている場合に発生する台形ひずみを補正します。

| 画面の状態 | 操作 |
|---|---|
|  |  |
|  |  |

- 設定可能範囲：- 32 ～＋ 32

**お知らせ :**
- 台形ひずみは、縦方向の傾きに対して± 30 度まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、ピントが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 台形補正を行うと画像サイズも変化します。
- メニュー画面に台形補正は機能しません。
- レンズシフトの位置によっては、台形ひずみが発生します。
- 補正量によっては、画像の縦横比がずれる場合があります。

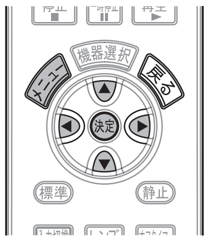
## 自動位置補正（パソコン入力のみ）

決定ボタンを押すと、「水平画面位置」、「垂直画面位置」、「クロック調整」、「クロック位相」を入力信号に合わせて、自動的に調整します。

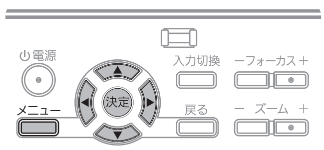
# 「レンズコントロール」メニューについて

**「メニュー画面の操作方法」（☞30 ページ）のメインメニューから「レンズコントロール」を選択し、サブメニューから項目を選んでください。**
- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで映像の調節を行ってください。

リモコン

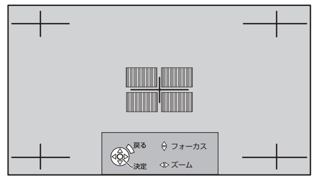



本体操作部




## レンズコントロール

決定ボタンを押すと、「ズーム / フォーカス」のテストパターン 1 が表示されます。パターンのサイズとピントが合うように調整してください。
（☞21 ページ）

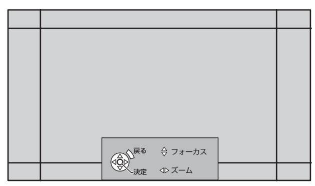


テストパターン 1

**1） ◀▶ ボタンで「ズーム」、▲▼ ボタンで「フォーカス」を合わす**

**2） 決定ボタンを押す**

テストパターン 2 が表示されます。
再度、ピントを確認してください。
もう一度決定ボタンを押すと、入力している映像に切り換わり、さらに決定ボタンを押すとテストパターン 1 の画面に戻ります。



テストパターン 2

**3） 戻るボタンまたは、メニューボタンを押す**

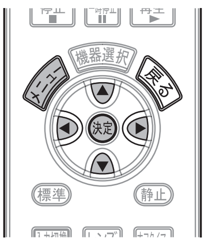
「レンズコントロール」メニューに戻ります。

**お知らせ :**
- 本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いている場合は、画面の上端部と下端部でピントがずれてしまいます。画面中央でピントを合わせてください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「画面位置の調整」メニューの「台形補正」を行ってください。（☞37 ページ）

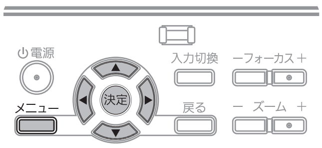
# 「その他の設定」について

**「メニュー画面の操作方法」（☞30 ページ）の メインメニューから「その他の設定」を選択し、 サブメニューから項目を選んでください。**
- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで映像の調節を行ってください。

リモコン




本体操作部




## 入力ガイド

現在選択している入力端子名を表示するか設定します。入力切換ボタンを押したとき、画面右上に表示します。（☞22 ページ）

**設定を切り換える**


**設定を切り換える**

| | |
|---|---|
| **オフ** | 入力ガイド無効 |
| **簡易表示** | 入力端子名のみ表示 |
| **詳細表示** | 入力端子をグラフィック表示 |

## OSD デザイン

オンスクリーンメニュー（OSD）の背景を設定します。

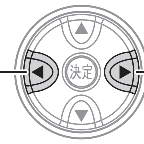
**設定を切り換える**


**設定を切り換える**

| | |
|---|---|
| **タイプ 1** | 背景を半透明の黒色で表示 |
| **タイプ 2** | 背景を青色で表示 |
| **タイプ 3** | 背景を半透明の紺色で表示 |

## OSD ポジション

オンスクリーンメニュー（OSD）の表示位置を設定します。

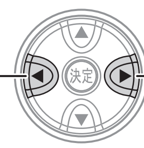
**設定を切り換える**


**設定を切り換える**

| | |
|---|---|
| **中央** | 投写画面の中央に表示 |
| **左下** | 投写画面の左下に表示 |
| **中央下** | 投写画面の中央下に表示 |
| **右下** | 投写画面の右下に表示 |
| **左上** | 投写画面の左上に表示 |
| **中央上** | 投写画面の中央上に表示 |
| **右上** | 投写画面の右上に表示 |

## バックカラー

信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

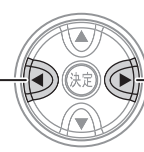
**設定を切り換える**


**設定を切り換える**

| | |
|---|---|
| **ブルー** | 投写画面全体に青色を表示 |
| **ブラック** | 投写画面全体に黒色を表示 |

## スタートアップロゴ

電源を入れたときに「Panasonic」ロゴを表示するか設定します。

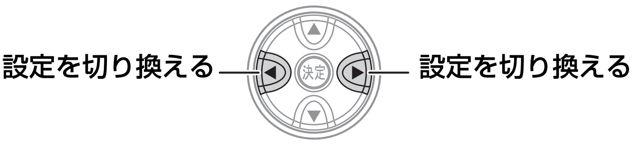
**設定を切り換える**


**設定を切り換える**

| | |
|---|---|
| **オン** | スタートアップロゴ有効 |
| **オフ** | スタートアップロゴ無効 |

## 自動入力サーチ

電源を入れたときに、信号が入力されている端子を自動的にサーチし投写するか設定します。

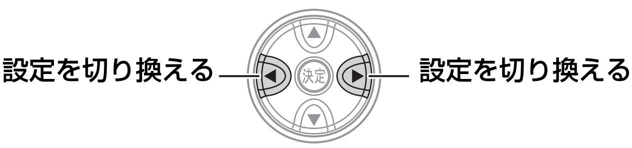



| | |
|---|---|
| **オン** | 自動入力サーチ有効 |
| **オフ** | 自動入力サーチ無効 |

**お願い：**
- 通常は「オン」に設定してください。

## HDMI 信号レベル

本機と外部機器を HDMI で接続し、正常な映像が映らない場合は設定を切り換えてください。

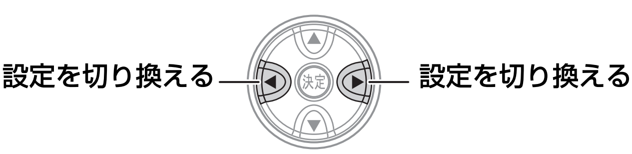



| | |
|---|---|
| **通常** | 一般的な外部機器が使用する信号レベル |
| **拡張** | 一部の外部機器が使用する拡張された信号レベル |

**お知らせ：**
- 一部の機器では、映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。

## 設置方法

本機の設置方法によって切り換えます。
（☞15 ページ）




| | |
|---|---|
| **フロント / 床置き** | スクリーン前方にある机の上などに設置する場合 |
| **フロント / 天吊り** | スクリーン前方にある天吊り金具（別売品）を使用して設置する場合 |
| **リア / 床置き** | スクリーン後方（透過式スクリーン使用）にある机の上などに設置する場合 |
| **リア / 天吊り** | スクリーン後方（透過式スクリーン使用）に天吊り金具（別売品）を使用して設置する場合 |

## オフタイマー

自動的にプロジェクターの電源を切る時間を設定します。

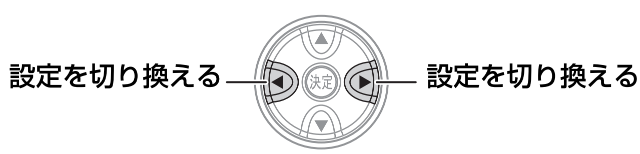



| | |
|---|---|
| **オフ** | オフタイマー無効 |
| **60 分** | 60 分後に電源を切る |
| **90 分** | 90 分後に電源を切る |
| **120 分** | 120 分後に電源を切る |
| **150 分** | 150 分後に電源を切る |
| **180 分** | 180 分後に電源を切る |
| **210 分** | 210 分後に電源を切る |
| **240 分** | 240 分後に電源を切る |

**お知らせ：**
- 設定した時間が過ぎると自動的に電源オフ状態（電源モニターが赤色に点灯）になります。
- 設定した時間が残り 3 分になると、画面の右下に表示がでます。
- 設定した時間になる前にオフタイマーを「オフ」に設定すると、設定が取り消されます。

## ファン制御

内部の冷却ファンの回転速度を設定します。




| | |
|---|---|
| **標準** | 通常の環境で使用のとき |
| **高地** | 高地で使用のとき |

**お願い：**
- 海抜 1 400 m 以上の場所でご使用の場合のみ、「高地」に設定してください。

## ランプパワー

ランプの明るさを設定します。

設定を切り換える


設定を切り換える

| | |
|---|---|
| **ノーマル** | ランプを明るくする |
| **エコモード** | ランプの明るさを抑える |

**お知らせ :**
- 「エコモード」に設定すると輝度が下がり、電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命を延ばすことができます。外光が遮断され、照明の映り込みがない環境や、映画などをご覧になる場合は「エコモード」に設定されることをお勧めします。
- 信号が入力されていない場合は、設定できません。

## ランプ使用時間

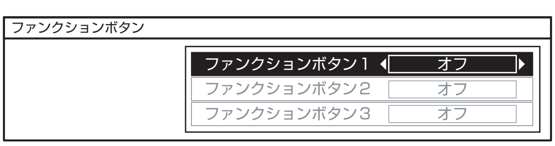
ランプの使用時間を表示します。

**お願い :**
- ランプを交換する場合は、「ランプユニットの交換手順」（☞45 ページ）にしたがって交換し、ランプ使用時間を「0」にリセットしてください。

**お知らせ :**
- ランプの使用時間が 1 800 時間（「ランプパワー」が「ノーマル」設定時）に達すると、赤色とグレーで交互に表示し交換時期をお知らせします。
- ランプユニットの交換時期を確認してください。（☞44 ページ）
- ランプの寿命は使用条件（「ランプパワー」の設定や電源の入切の回数など）により変わります。

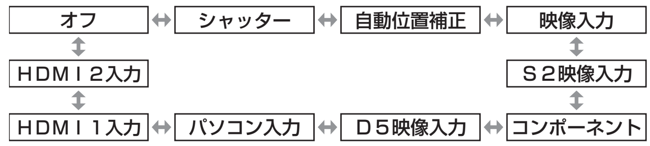
## ファンクションボタン

決定ボタンを押すと、「ファンクションボタン」メニューが表示されます。
リモコンがプロジェクターモードの時（機器選択でプロジェクターを選択しているとき）、機能ボタンA/B/C はファンクションボタン 1、2、3 として使用することができます。それぞれに、よく使う操作を割り当てることで、簡単なショートカットボタンとして使用できます。




**1） ▲▼ ボタンで設定したいファンクションボタン（1 ～ 3）を選ぶ**

**2） ◀▶ ボタンでファンクションボタンに設定したい項目を選ぶ**
ボタンを押すごとに下表のように切り換わります。




| | |
|---|---|
| **オフ** | ファンクションボタン無効 |
| **シャッター** | シャッター機能を動作させる<br>● 一定期間だけ本機を使用しない場合などに、シャッター機能を動作させると映像が消え、消費電力を少なくすることができます。<br>● リモコンまたは本体操作部のいずれかのボタンを押せば、シャッター機能は解除され、映像が投写されます。（ただし、リモコンのライトボタンシステム機器操作用ボタンは除く。） |
| **自動位置補正** | 自動位置補正を開始（☞37 ページ） |
| **映像入力** | 入力を映像入力に切り換える（☞22 ページ |
| **S2 映像入力** | 入力を S2 映像入力に切り換える（☞22 ページ） |
| **コンポーネント** | 入力をコンポーネントに切り換える（☞22 ページ） |
| **D5 映像入力** | 入力を D5 映像入力に切り換える（☞22 ページ） |
| **パソコン入力** | 入力をパソコン入力に切り換える（☞22 ページ） |
| **HDMI 1 入力** | 入力を HDMI 1 入力に切り換える（☞22 ページ） |
| **HDMI 2 入力** | 入力を HDMI 2 入力に切り換える（☞22 ページ） |

**お願い :**
- ファンクションボタンに割り当てた操作は、本機の操作の時のみ動作します。機能ボタン A/B/C をファンクションボタン１ / ２ / ３として動作させる場合は、機器選択ボタンを押してリモコンをプロジェクターモードにしてから操作してください。
詳しくは別冊の「リモコン操作ガイド」をご覧ください。

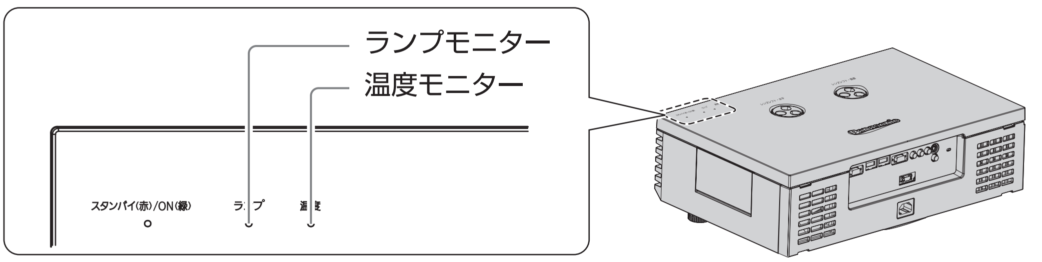
# 温度モニター、ランプモニター

## モニターが点灯したら

本機内部に異常が発生すると温度とランプのモニターランプが点灯や点滅でお知らせします。
モニターの状態を調べて、次の処置を行ってください。

**お願い :**
- 処置を行うときの電源操作は「電源を切る」の手順を必ずお守りください。(☞20 ページ)

**お知らせ :**
- 電源の状態は電源モニターで確認してください。(☞19 ページ)




### ■温度モニター

| | | | |
|---|---|---|---|
| **点灯状況** | ● 投写中に赤色点灯<br>● 電源オフの状態で赤色点滅（自動的に投写を中止） | | |
| **状態** | 周囲温度または内部が異常に高温になっている。 | | |
| **お調べください** | 吸排気孔がふさがれていませんか。 | 気温の高いところで使用していませんか。 | エアーフィルターが目づまりしていませんか。 |
| **処置方法** | 吸排気孔をふさいでいるものを取り除いてください。 | 仕様で定められた周囲温度、周囲湿度の場所に設置してください。<br>(☞51 ページ) | エアーフィルターの掃除・交換を行ってください。<br>(☞43 ページ) |

**お知らせ :**
- 上記の処置をしても、温度モニターが点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

### ■ランプモニター

| | | | |
|---|---|---|---|
| **点灯状況** | ● 赤色点灯 | ● 赤色点滅 | |
| **状態** | ランプユニットの交換時期を知らせています。ランプユニットの使用時間が 1 800 時間（ランプパワー「ノーマル」設定時）に達すると点灯します。 | ランプユニットの不具合、ランプ電源の異常または、ランプの破損などを検知しています。 | |
| **お調べください** | 電源を入れたときに、ランプの交換を促すオンスクリーン表示がされていませんか。 | 電源を切ってからすぐに電源を入れなおしていませんか。 | ランプユニットの不具合、ランプ電源の異常または、ランプの破損などが発生しています。 |
| **処置方法** | ランプユニットの交換を行ってください。<br>(☞44 ページ) | 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。 | 「電源を切る」<br>(☞19 ページ)<br>の手順で主電源スイッチを切り、販売店にご相談 |

**お知らせ :**
- 上記の処置をしても、ランプモニターが点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご相談ください。

# お手入れ / 部品交換

## お手入れ / 部品交換の前に

**お願い :**
- お手入れ / 部品交換を行う際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。(☞19、20 ページ)
- 電源を切るときは「電源を切る」の手順を必ずお守りください。(☞20 ページ)

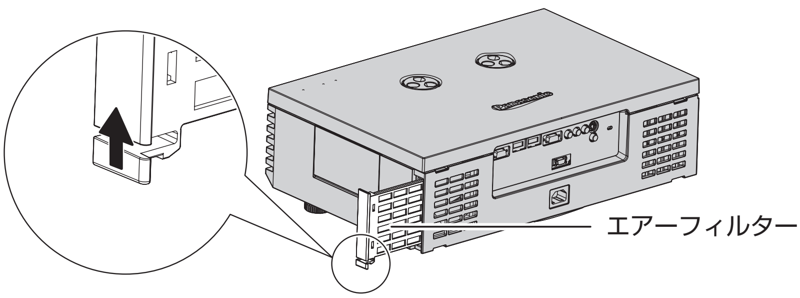
## お手入れ

### ■キャビネット
汚れやほこりは柔らかい乾いた布でふき取ってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤(中性)にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。

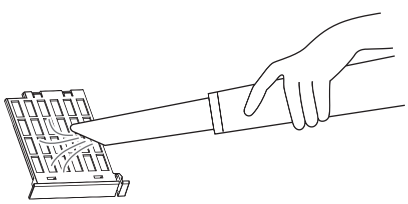
### ■レンズ
レンズにゴミやほこりが付着しますと、スクリーンにゴミやほこりが拡大されて映ります。
柔らかいきれいな布でふいてください。
- レンズ面は毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください。

### ■エアーフィルター
エアーフィルターにほこりがたまり過ぎると、本機の内部温度を正常な状態に保てなくなり、温度モニターが点滅し、電源が切れます。掃除は約 100 時間を目安に行ってください。

**1) エアーフィルターを外す**
- エアーフィルターの矢印部分を少し持ち上げた状態で、本機からゆっくりと引き抜いてください。




**2) エアーフィルターを掃除する**
- 掃除機でほこりを吸い取ってください。



**3) エアーフィルターを取り付ける**

**お願い :**
- エアーフィルターは必ず取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

## 部品交換

### ■エアーフィルター
掃除をしてもほこりがとれなくなったら交換時期です。
交換用のエアーフィルターは別売り部品です。(サービス部品扱い)
ご購入の際は販売店にご相談ください。
また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアーフィルターも交換してください。
(交換用のランプユニット［ET-LAE1000］には、エアーフィルターが付属しています。)

点検とお手入れ

## ■ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。使用時間を確認し、定期的な交換を行ってください。
ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

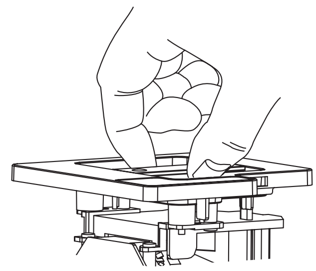
**⚠警告**

### ■ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待って）行う

カバー内部がかなり熱く、やけどの原因になります。

## ■ランプユニットの交換上のお願い

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、蛍光灯と同様に処分してください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットの表面はとがっていたり、引っかかる形状ですので、交換する際は必ずランプユニットのハンドルを持って取りあつかってください。
- ガラス破片飛散防止のため、ランプユニットを水平に持って交換してください。またプロジェクターを天井に取り付けている場合は、ランプユニットを水平におろして交換してください。

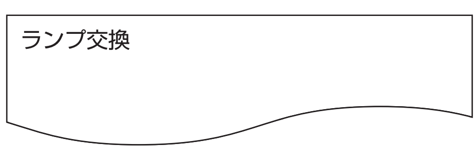
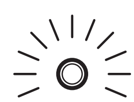


**お知らせ :**

- ランプユニットは別売り部品です。販売店にご相談ください。
  ランプユニット品番：ET-LAE1000（サービス部品扱い）
- 上記のランプ以外は使用しないでください。

## ■ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 2 000 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、2 000 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。2 000 時間を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなるため、ランプは自動的に消灯します。

| | オンスクリーン表示   | ランプモニター   |
|---|---|---|
| 1 800 時間以降 | 30 秒間表示されます。いずれかのボタンを押せば表示が消えます。 | スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。 |
| 2 000 時間以降 | いずれかのボタンを押さない限り表示は消えません。 | |

**お知らせ :**

- この説明で記載している使用時間は、「その他の設定」メニューの「ランプパワー」を「ノーマル」（☞41 ページ）に設定した場合の時間です。
- 「ランプパワー」を「エコモード」に設定すると、明るさは低下しますが、長くランプを使用することができます。
- 2 000 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については、52 ページや保証書をご覧ください。

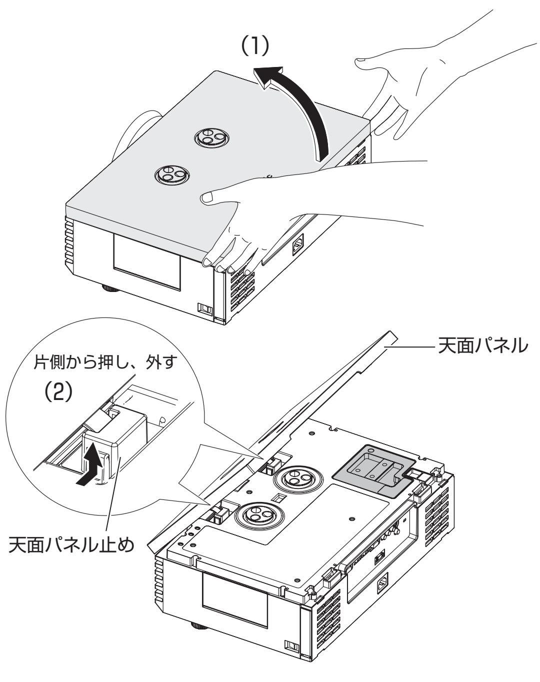
## ■交換手順

**お願い :**

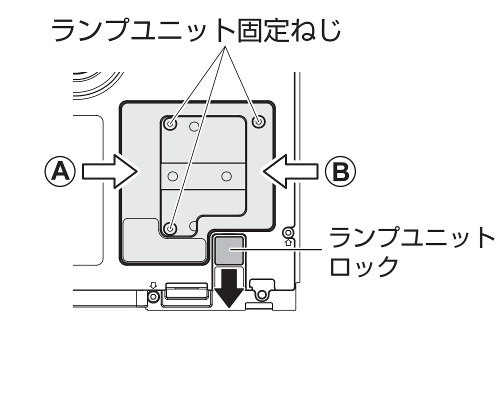
- ランプユニットの使用時間が 2 000 時間 ( ランプパワー「ノーマル」設定時 ) を越えた場合は、電源を入れてから約 10 分間のみ本機を動作させることができます。
  手順 ⑧ ～ ⑪ の操作を 10 分以内に行ってください。
- ランプユニットは確実に取り付けてください。ランプユニットの取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。
- 天面パネルを外した状態で本機を使用しないでください。

**① 「電源を切る」( ☞20 ページ) の手順を守り、主電源スイッチを切った後、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット近辺が冷えていることを確認する。**

**② 本体天面パネルの左右後側の隅を持ち、天面パネルを開き (1)、天面パネルを開けた状態で天面パネル止め (2ヵ所) をはずし (2)、天面パネルを取り外します。**

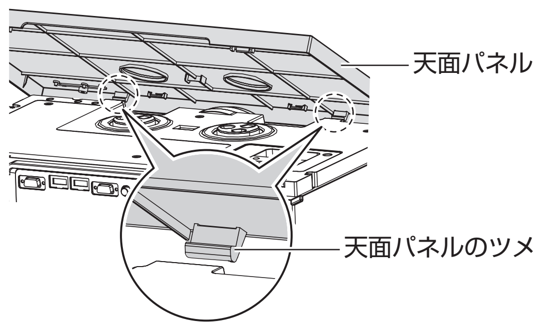



**③ ランプユニット固定ねじ (3 本 ) をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットのハンドルを持ち、ランプユニットロックを黒矢印の方向にずらした状態で、ゆっくりと本体から引き出す。**




**④ 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、ランプユニット固定ねじ (３本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける。**
挿入時、特にⒶ部とⒷ部をよく押し込んでください。

**⑤ 天面パネル止め (2ヵ所) をカチッと音がするまで押し込み、天面パネルのツメ (2ヵ所) を本体前面に引っ掛け、天面パネルを閉めます。(手順は ② の逆です)**

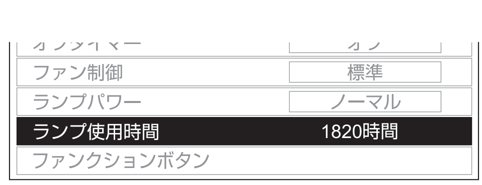



**⑥ 電源プラグをコンセントに差し込んで、主電源スイッチを入れる。**

**⑦ 電源ボタンを押し、映像投写を開始する。**

**⑧ メニューボタンを押し、メニュー画面を表示させ ▲▼ ボタンで「その他の設定」を選択する。**

**⑨ 決定ボタンを押し、▲▼ ボタンで「ランプ使用時間」の項目を選択する。**




**⑩ 決定ボタンを約 3 秒間押し続ける。**
ランプ使用時間リセット画面が表示されます。

**⑪ ◀▶ ボタンで「はい」を選び、決定ボタンを押す。**
ランプ使用時間が「0」にリセットされ、電源オフ状態 (スタンバイ) になります。

# 修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。
詳しくは、対応するページをご覧ください。

| 症状 | ここをお調べください | ページ |
|---|---|---|
| 電源が入らない | ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。<br>● 主電源スイッチを「OFF」にしていませんか。<br>● コンセントに電源がきていますか。<br>● 温度モニターまたはランプモニターが点灯または点滅していませんか。<br>● ランプユニット収納扉は確実に取り付けられていますか。 | 19<br>20<br>19<br>42<br>45 |
| 映像がでない | ● 入力端子は正しく接続されていますか。<br>● 入力切換は正しく設定されていますか。<br>● 黒レベル調整が最小になっていませんか。<br>● 本機に接続している外部機器は正常に動作していますか。<br>● シャッター機能を使用していませんか。 | 18<br>22<br>31<br>—<br>49 |
| 映像がボヤけている | ● レンズカバーがかぶさったままではありませんか。<br>● レンズのピントは合っていますか。<br>● 投写距離は適切ですか。<br>● レンズが汚れていませんか。<br>● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。 | 20<br>21<br>14<br>43<br>14 |
| 色が薄い／色あいが悪い | ●「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。<br>● 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。 | 31<br>— |
| リモコンが働かない | ● 乾電池が消耗していませんか。<br>● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。<br>● リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。<br>● リモコン有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。<br>● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。 | —<br>11<br>11<br>51<br>11 |
| 正常な映像が映らない | ● カラー方式の選択は正しく行われていますか。<br>● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。<br>● 本機が対応できない信号を入力していませんか。 | 34<br>—<br>47 |
| パソコンからの映像が映らない | ● ケーブルが長すぎませんか。<br>● ノートパソコンの外部映像出力が、正しく設定されていますか。<br>（例：「Fn」＋「F3」あるいは「Fn」＋「F10」ボタンを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。パソコンの機種によって異なりますので、パソコンに付属の説明書をご覧ください。） | —<br>— |

# 付録

## 対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表の通りです。

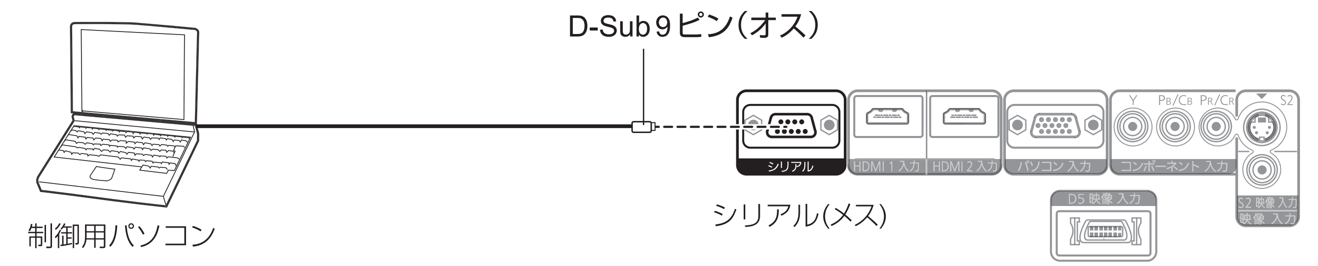
| 表示モード | 解像度（ドット）*1 | 走査周波数 | | ドットクロック周波数(MHz) | 画質 *2 | フォーマット |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 水平(kHz) | 垂直(Hz) | | | |
| NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL60 | 720 x 480i | 15.7 | 59.9 | | A | ビデオ /S ビデオ |
| PAL/PAL-N/SECAM | 720 x 576i | 15.6 | 50.0 | | A | ビデオ /S ビデオ |
| 525i (480i) | 720 x 480i | 15.7 | 59.9 | 13.5 | A | コンポーネント /D5 |
| 625i (576i) | 720 x 576i | 15.6 | 50.0 | 13.5 | A | コンポーネント |
| 525p (480p) | 720 x 483 | 31.5 | 59.9 | 27.0 | A | コンポーネント /HDMI/D5 |
| 625p (576p) | 720 x 576 | 31.3 | 50.0 | 27.0 | A | コンポーネント /HDMI |
| 1 125 (1 080)/60i | 1 920 x 1 080i | 33.8 | 60.0 | 74.3 | AA | コンポーネント /D5/パソコン /HDMI |
| 1 125 (1 080)/50i | 1 920 x 1 080i | 28.1 | 50.0 | 74.3 | AA | コンポーネント /パソコン /HDMI |
| 1 125 (1 080)/24p | 1 920 x 1 080 | 27.0 | 24.0 | 74.3 | AA | コンポーネント /HDMI |
| 1 125 (1 080)/60p | 1 920 x 1 080 | 67.5 | 60.0 | 148.5 | AA | コンポーネント /D5/パソコン /HDMI |
| 1 125 (1 080)/50p | 1 920 x 1 080 | 56.3 | 50.0 | 148.5 | AA | コンポーネント /パソコン /HDMI |
| 750 (720)/60p | 1 280 x 720 | 45.0 | 60.0 | 74.3 | AA | コンポーネント /HDMI/D5 |
| 750 (720)/50p | 1 280 x 720 | 37.5 | 50.0 | 74.3 | AA | コンポーネント /HDMI |
| VGA480 | 640 x 480 | 31.5 | 59.9 | 25.2 | A | パソコン /HDMI |
| | 640 x 480 | 37.5 | 75.0 | 31.5 | A | パソコン |
| | 640 x 480 | 43.3 | 85.0 | 36.0 | A | パソコン |
| | 640 x 480 | 72.1 | 138.0 | 62.3 | A | パソコン |
| WIDE480 | 856 x 480 | 30.1 | 60.1 | 31.5 | A | パソコン |
| SVGA | 800 x 600 | 35.2 | 56.3 | 36.0 | A | パソコン |
| | 800 x 600 | 37.9 | 60.3 | 40.0 | A | パソコン |
| | 800 x 600 | 48.1 | 72.2 | 50.0 | A | パソコン |
| | 800 x 600 | 46.9 | 75.0 | 49.5 | A | パソコン |
| | 800 x 600 | 53.7 | 85.1 | 56.3 | A | パソコン |
| WIDE600 | 1 072 x 600 | 37.2 | 59.9 | 51.4 | A | パソコン |
| WIDE720 | 1 280 x 720 | 45.1 | 60.1 | 76.5 | AA | パソコン |
| XGA | 1 024 x 768 | 48.4 | 60.0 | 65.0 | A | パソコン |
| | 1 024 x 768 | 56.5 | 70.1 | 75.0 | A | パソコン |
| | 1 024 x 768 | 60.0 | 75.0 | 78.8 | A | パソコン |
| | 1 024 x 768 | 68.7 | 85.0 | 94.5 | A | パソコン |
| | 1 024 x 768 | 72.1 | 89.0 | 99.2 | A | パソコン |
| WIDE768 | 1 280 x 768 | 45.3 | 56.5 | 76.2 | A | パソコン |
| MXGA | 1 152 x 864 | 64.0 | 71.2 | 94.2 | A | パソコン |
| | 1 152 x 864 | 67.5 | 74.9 | 108.0 | A | パソコン |
| SXGA | 1 280 x 1 024 | 64.0 | 60.0 | 108.0 | A | パソコン |
| SXGA60+ | 1 400 x 1 050 | 65.1 | 59.9 | 122.4 | A | パソコン |
| WIDE768-2 | 1 360 x 768 | 48.8 | 59.8 | 74.3 | A | パソコン |
| WIDE800 | 1 280 x 800 | 49.7 | 59.8 | 83.5 | A | パソコン |
| WIDE900 | 1 440 x 900 | 55.9 | 59.8 | 106.5 | A | パソコン |

*1 解像度の後ろの“i”は、インターレース信号を示しています。
*2 画質を表す記号は下記の通りです。
AA 最高の画質で投写できます。
A 画像処理回路で変換を行い投写しています。

## シリアル端子について

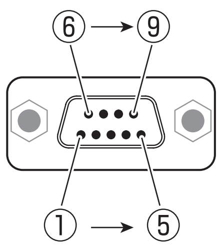
本機接続端子部のシリアル端子は RS-232C 準拠しており、パソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

### ■接続




### ■ピン配列と信号名

D-Sub9 ピン（外側から見た図）



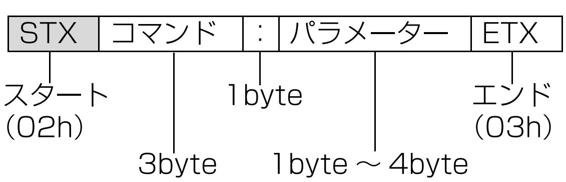

| ピン NO. | 信号名 | 内容 |
|---|---|---|
| ① | | NC（何も接続されていません） |
| ② | TXD | 送信データ |
| ③ | RXD | 受信データ |
| ④ | | NC（何も接続されていません） |
| ⑤ | GND | グラウンド |
| ⑥ | | NC（何も接続されていません） |
| ⑦ | RTS | 内部で接続されています |
| ⑧ | CTS | |
| ⑨ | | NC（何も接続されていません） |

### ■通信条件

| | |
|---|---|
| 信号レベル | RS-232C 準拠 |
| 同期方式 | 調歩同期 |
| ボーレート | 9 600bps |
| パリティ | なし |

| | |
|---|---|
| キャラクター長 | 8 ビット |
| ストップビット | 1 ビット |
| X パラメーター | なし |
| S パラメーター | なし |

### ■基本フォーマット




パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。

**お願い :**

- ランプ点灯開始後、約 10 秒間はコマンドを受信できません。必ず 10 秒以上経過してから送信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン（ : ）は必要ありません。

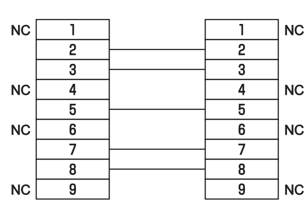
**お知らせ :**

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から「ER401」というコマンドがパソコン側に送信されます。

### ■ケーブル仕様

＜パソコンと接続する場合＞

本機側




パソコン側
(DTE 仕様)

## ■制御コマンド

パソコンで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。
<操作コマンド>

| コマンド | 内容 | 備考 |
|---|---|---|
| PON | 電源「入」 | スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。<br>ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。<br>● ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後約 85 秒経過しないと点灯制御を開始しません。 |
| POF | 電源「切」 | |
| IIS | 入力信号<br>切り換え | パラメーター<br>YUV ＝コンポーネント入力（YPBPR）　DI4 ＝ D5 映像入力　SVD ＝ S2 映像入力<br>VID ＝映像入力　HD1 ＝ HDMI 1 入力　HD2 ＝ HDMI 2 入力　RG1 ＝パソコン入力 |
| OMN | メニュー画面表示 | メニュー画面を表示します。 |
| OEN | 決定 | オンスクリーンメニューの項目を実行します。 |
| OBK | 戻る | メニュー画面が表示されているときに、前の画面に戻したり、メニュー画面を消せます。 |
| OCU<br>OCD<br>OCL<br>OCR | ▲▼◀▶ ボタン | OCU ＝ ▲　OCD ＝ ▼<br>OCL ＝ ◀　OCR ＝ ▶ |
| OLE | レンズコントロール画面の表示 | （終了させる時は、「戻る」か「メニュー」） |
| OST | 標準ボタン | 調整値を工場出荷状態に戻します。（☞30 ページ） |
| OFZ | 静止機能 | 映像を一時静止させます。（☞41 ページ）<br>パラメーター　0 ＝ OFF　1 ＝ ON |
| OSH | シャッター機能 | 映像を一時的に消します。<br>コマンドを送信するごとに ON ／ OFF が切り換わります。（☞22 ページ）<br>短時間での ON ／ OFF の切り換えは行わないでください。 |
| OVM | 映像メニュー<br>切り換え | 映像メニューを切り換えます。コマンドを送信するごとに映像メニューが切り換わります。（☞31 ページ） |
| OWM | 波形モニターの<br>表示・終了 | パラメーター<br>0 ＝ OFF　1 ＝全ライン表示 (Y)　2 ＝全ライン表示 (R)　3 ＝全ライン表示 (G)<br>4 ＝全ライン表示 (B)　5 ＝ライン選択 (Y)　6 ＝ライン選択 (R)　7 ＝ライン選択 (G)<br>8 ＝ライン選択 (B) |
| VS1 | アスペクト比<br>切り換え | アスペクト比を切り換えます。コマンドを送信するごとにアスペクト比が切り換わります。（☞23 ページ） |
| VPM | 映像メニュー設定 | 映像メニューを設定します。（☞31 ページ）<br>パラメーター<br>NOR ＝ノーマル　DYN ＝ダイナミック　NAT ＝カラー 1　VID ＝カラー 2<br>CN1 ＝シネマ 1　CN2 ＝シネマ 2　CN3 ＝シネマ 3 |
| OOT | オフタイマー機能 | 自動的に電源を切る時間を設定します。（☞40 ページ）<br>0 ＝ OFF　1 ＝ 60 分　2 ＝ 90 分　3 ＝ 120 分　4 ＝ 150 分　5 ＝ 180 分<br>6 ＝ 210 分　7 ＝ 240 分 |

<状態問い合わせコマンド>

| コマンド | 内容 | コールバックパラメーターとその内容 |
|---|---|---|
| QPW | 電源の状態 | 000 ＝ OFF　001 ＝ ON |
| QIN | 入力信号の状態 | YUV ＝コンポーネント入力（YPBPR）　DI4 ＝ D5 映像入力　SVD ＝ S2 映像入力<br>VID ＝映像入力　HD1 ＝ HDMI 1 入力　HD2 ＝ HDMI 2 入力　RG1 ＝パソコン入力 |
| QPM | 映像メニューの状態 | NOR ＝ノーマル　DYN ＝ダイナミック　NAT ＝カラー 1　VID ＝カラー 2<br>CN1 ＝シネマ 1　CN2 ＝シネマ 2　CN3 ＝シネマ 3（☞31 ページ） |
| QSH | シャッター機能の<br>状態 | 0 ＝ OFF　1 ＝ ON　（☞22 ページ） |
| QFZ | 静止機能の状態 | 0 ＝ OFF　1 ＝ ON　（☞22 ページ） |
| QOT | オフタイマー機能の<br>状態 | 0 ＝ OFF　1 ＝ 60 分　2 ＝ 90 分　3 ＝ 120 分　4 ＝ 150 分　5 ＝ 180 分<br>6 ＝ 210 分　7 ＝ 240 分（☞22 ページ） |
| QWM | 波形モニター表示の<br>状態 | パラメーター<br>0 ＝ OFF　1 ＝全ライン表示 (Y)　2 ＝全ライン表示 (R)　3 ＝全ライン表示 (G)<br>4 ＝全ライン表示 (B)　5 ＝ライン選択 (Y)　6 ＝ライン選択 (R)　7 ＝ライン選択 (G)<br>8 ＝ライン選択 (B) |

# 仕様

本機の仕様は下表の通りです。

| | | |
|---|---|---|
| **使用電源** | | AC 100 V 50 Hz/60 Hz |
| **消費電力** | | 240 W 以下（リモコンスタンバイ時約 0.08 W ただし、ファン停止時） |
| **液晶パネル** | **パネルサイズ** | 0.74 型 LCD（アスペクト比 16：9） |
| | **表示方式** | 透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式 |
| | **駆動方式** | アクティブマトリクス方式 |
| | **画素数** | 2 073 600 画素（1 920 × 1080 ドット）× 3 枚 |
| **レンズ** | | 電動ズーム（2 倍）・フォーカス<br>F 1.9 ～ 3.2、f 22.4 mm ～ 44.8 mm |
| **光源ランプ** | | 165 W UHM ランプ |
| **光出力** | | 1 100 lm |
| **対応走査周波数※（RGB 信号時）** | **水平走査周波数** | 30 kHz ～ 70 kHz |
| | **垂直走査周波数** | 50 Hz ～ 87 Hz |
| | **ドットクロック周波数** | 150 MHz 未満 |
| **コンポーネント（Y$P_B$$P_R$）信号** | | 525i (480i)、525p (480p)、625i (576i)、625p (576p)、<br>750 (720)/60p、750 (720)/50p、1 125 (1 080)/60i、<br>1 125 (1 080)/50i、1 125(1 080)/24p、1 125 (1 080)/60p、<br>1 125 (1 080)/50p、 |
| **カラー方式** | | 7 方式（NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM） |
| **投写画面サイズ** | | 40 型～ 200 型 |
| **投写距離** | | 1.2 m ～ 12 m |
| **画面アスペクト比** | | 16：9 |
| **投写方式** | | フロント / 床置き、フロント / 天吊り、リア / 床置き、リア / 天吊り<br>（メニュー設定方式） |
| **接続端子** | **ビデオ入力端子** | ● S2 映像：1 系統 Mini DIN 4p<br>Y 1.0 V [p-p] C 0.286 V [p-p] 75 Ω<br>● 映像：1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω |
| | **パソコン入力端子** | RGB　1 系統高密度 D-sub 15p（メス）<br>● R、G、B:　0.7 V [p-p] 75 Ω<br>● G・SYNC：　1.0 V [p-p] 75 Ω<br>● HD/SYNC:　TTL ハイインピーダンス正 / 負極性自動対応<br>● VD:　TTL ハイインピーダンス正 / 負極性自動対応 |
| | **コンポーネント映像入力端子** | Y、$P_B$/$C_B$、$P_R$/$C_R$　1 系統　RCA ピンジャック× 3<br>● Y：　1.0 V [p-p]（同期信号を含む）75 Ω<br>● $P_B$/$C_B$、$P_R$/$C_R$：　0.7 V [p-p] 75 Ω |
| | **HDMI 入力端子** | 2 系統　HDMI 19 ピン |
| | **D5 映像入力端子** | 1 系統　D5 映像 |
| | **シリアル端子** | D-Sub 9 ピン　RS-232C 準拠（パソコン制御用） |

※本機が投写できる映像信号について詳しくは（☞47 ページ）対応信号リストをご覧ください。

| | | |
|---|---|---|
| 電源コードの長さ | | 3.0 m |
| キャビネット | | 樹脂成型品（PC+ABS） |
| 外形寸法 | | ● 横幅　460 mm<br>● 高さ　130 mm（突起部は除く）<br>● 奥行　300 mm（レンズは除く） |
| 質量 | | 7.2 kg |
| 使用環境条件 | | ● 使用周囲温度　0 ℃～ 40 ℃（ただし、40 ページ「ファン制御」を「高地」に設定している場合は、0 ℃～ 35 ℃）<br>● 使用周囲湿度　20 %～ 80 %（結露のないこと） |
| < リモコン > | 使用電源 | DC 3 V（単 3 形乾電池 2 個） |
| | 操作距離 | 約 7 m（受光部正面） |
| | 質量 | 約 170 g（乾電池含む） |
| | 外形寸法 | ● 横幅　52 mm<br>● 高さ　200 mm<br>● 厚さ　28.5 mm（突起部は除く） |
| < オプション > | ケーブルカバー | TY-PCE1000 |
| | 天つり金具 | TY-PKX100（高天井用）、TY-PKE1000S（低天井用） |
| | スクリーン | TY-SRW90CC |
| | 映像ケーブル | TY-SC10CP（RCA ピンジャック× 3 － RCA ピンジャック× 3）<br>TY-SC10DT（RCA ピンジャック× 3 － D 端子）<br>TY-SC10DD（D 端子－ D 端子） |

● この液晶プロジェクターを使用できるのは、日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

商標について
- VGA、XGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- S-VGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- オンスクリーンディスプレイに使用しているフォントの一部は、株式会社リコーが製作・販売した、リコービットマップフォントです。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

― このマークがある場合は ―
## ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

# 保証とアフターサービス　よくお読みください

**修理・お取り扱い・お手入れ**
などのご相談は……
**まず、お買い上げの販売店へ**
お申し付けください。

**転居や贈答品などでお困りの場合は…**
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

## ■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

**保証期間：** お買い上げ日から本体 1 年間。
ただし光源ランプは 6ヵ月または 600 時間の早い方。

## ■補修用性能部品の保有期間
当社は、この液晶プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■修理を依頼されるとき
46 ページの「修理を依頼される前に」や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。ただし、1 年未満でも長時間使用による液晶パネルや偏光板などの光学部品の消耗劣化交換は、有料になる場合があります。
- 保証期間を過ぎているときは
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記の修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- 修理料金の仕組み
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  [技術料] は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  [部品代] は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  [出張料] は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

| 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容 | |
|---|---|
| **ご氏名** | |
| **ご住所** | 付近の見取図、目印など。 |
| **電話番号** | 呼び出しでもけっこうです。 |
| **製品名・品番・お買い上げ日** | お手もとの保証書をご覧ください。 |
| **故障または異常の内容** | モニターランプ点灯状況を含め、詳しくお願いします。 |
| **ご訪問ご希望日** | ご都合の悪い日もあわせて。 |

**ご相談窓口における個人情報のお取り扱い**
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

**修理に関するご相談**
ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

**使いかた・お買い物などのご相談**
ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時
電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

**Help desk for foreign residents in Japan**
**Tokyo** (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック
## 修 理 ご 相 談 窓 口

**ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

### 北 海 道 地 区

| | | |
|---|---|---|
| 札幌 | 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 | ☎(011)894-1251 |
| 旭川 | 旭川市2条通16丁目1166 | ☎(0166)22-3011 |
| 帯広 | 帯広市西20条北2丁目23-3 | ☎(0155)33-8477 |
| 函館 | 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） | ☎(0138)48-6631 |

### 東 北 地 区

| | | |
|---|---|---|
| 青森 | 青森市大字浜田字豊田364 | ☎(017)775-0326 |
| 秋田 | 秋田市東通り2丁目1-7 | ☎(018)831-7833 |
| 岩手 | 盛岡市厨川5丁目1-43 | ☎(019)645-6130 |
| 宮城 | 仙台市宮城野区扇町7-4-18 | ☎(022)387-1117 |
| 山形 | 山形市平清水1丁目1-75 | ☎(023)641-8100 |
| 福島 | 郡山市亀田1丁目51-15 | ☎(024)991-9308 |

### 首 都 圏 地 区

| | | |
|---|---|---|
| 栃木 | 宇都宮市上戸祭3丁目3-19 | ☎(028)689-2555 |
| 群馬 | 前橋市箱田町325-1 | ☎(027)254-2075 |
| 茨城 | つくば市筑穂3丁目15-3 | ☎(029)864-8756 |
| 埼玉 | 桶川市赤堀2丁目4-2 | ☎(048)728-8960 |
| 千葉 | 千葉市中央区末広5丁目9-5 | ☎(043)208-6034 |
| 東京 | 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 | ☎(03)5477-9780 |
| 山梨 | 甲府市宝1丁目4-13 | ☎(055)222-5171 |
| 神奈川 | 横浜市港南区日野5丁目3-16 | ☎(045)847-9720 |
| 新潟 | 新潟市東明1丁目8-14 | ☎(025)286-0171 |

### 中 部 地 区

| | | |
|---|---|---|
| 石川 | 金沢市横川3丁目20 | ☎(076)280-6608 |
| 富山 | 富山市根塚町1丁目1-4 | ☎(076)424-2549 |
| 福井 | 福井市問屋町2丁目14 | ☎(0776)25-5001 |
| 長野 | 松本市寿北7丁目3-11 | ☎(0263)86-9209 |
| 静岡 | 静岡市葵区千代田7丁目7-5 | ☎(054)287-9000 |
| 愛知 | 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 | ☎(052)819-0225 |
| 岐阜 | 岐阜市中鶉4丁目42 | ☎(058)278-6720 |
| 高山 | 高山市花岡町3丁目82 | ☎(0577)33-0613 |
| 三重 | 津市久居野村町字山神421 | ☎(059)255-1380 |

### 近 畿 地 区

| | | |
|---|---|---|
| 滋賀 | 栗東市霊仙寺1丁目1-48 | ☎(077)582-5021 |
| 京都 | 京都市伏見区竹田中川原町71-4 | ☎(075)646-2123 |
| 大阪 | 大阪市北区本庄西1丁目1-7 | ☎(06)6359-6225 |
| 奈良 | 大和郡山市筒井町800番地 | ☎(0743)59-2770 |
| 和歌山 | 和歌山市中島499-1 | ☎(073)475-2984 |
| 兵庫 | 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 | ☎(078)272-6645 |

### 中 国 地 区

| | | |
|---|---|---|
| 鳥取 | 鳥取市安長295-1 | ☎(0857)26-9695 |
| 米子 | 米子市米原4丁目2-33 | ☎(0859)34-2129 |
| 松江 | 松江市平成町182番地14 | ☎(0852)23-1128 |
| 出雲 | 出雲市渡橋町416 | ☎(0853)21-3133 |
| 浜田 | 浜田市下府町327-93 | ☎(0855)22-6629 |
| 岡山 | 岡山市田中138-110 | ☎(086)242-6236 |
| 広島 | 広島市西区南観音8丁目13-20 | ☎(082)295-5011 |
| 山口 | 山口市小郡下郷220-1 | ☎(083)973-2720 |

### 四 国 地 区

| | | |
|---|---|---|
| 香川 | 高松市勅使町152-2 | ☎(087)868-6388 |
| 徳島 | 徳島市沖浜2丁目36 | ☎(088)624-0253 |
| 高知 | 高知市仲田町2-16 | ☎(088)834-3142 |
| 愛媛 | 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 | ☎(089)905-7544 |

### 九 州 地 区

| | | |
|---|---|---|
| 福岡 | 春日市春日公園3丁目48 | ☎(092)593-9036 |
| 佐賀 | 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 | ☎(0952)26-9151 |
| 長崎 | 長崎市東町1949-1 | ☎(095)830-1658 |
| 大分 | 大分市萩原4丁目8-35 | ☎(097)556-3815 |
| 宮崎 | 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 | ☎(0985)63-1213 |
| 熊本 | 熊本市健軍本町12-3 | ☎(096)367-6067 |
| 天草 | 本渡市港町18-11 | ☎(0969)22-3125 |
| 鹿児島 | 鹿児島市与次郎1丁目5-33 | ☎(099)250-5657 |
| 大島 | 名瀬市長浜町10-1 | ☎(0997)53-5101 |

### 沖 縄 地 区

| | | |
|---|---|---|
| 沖縄 | 浦添市城間4丁目23-11 | ☎(098)877-1207 |

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0906

# 用語について

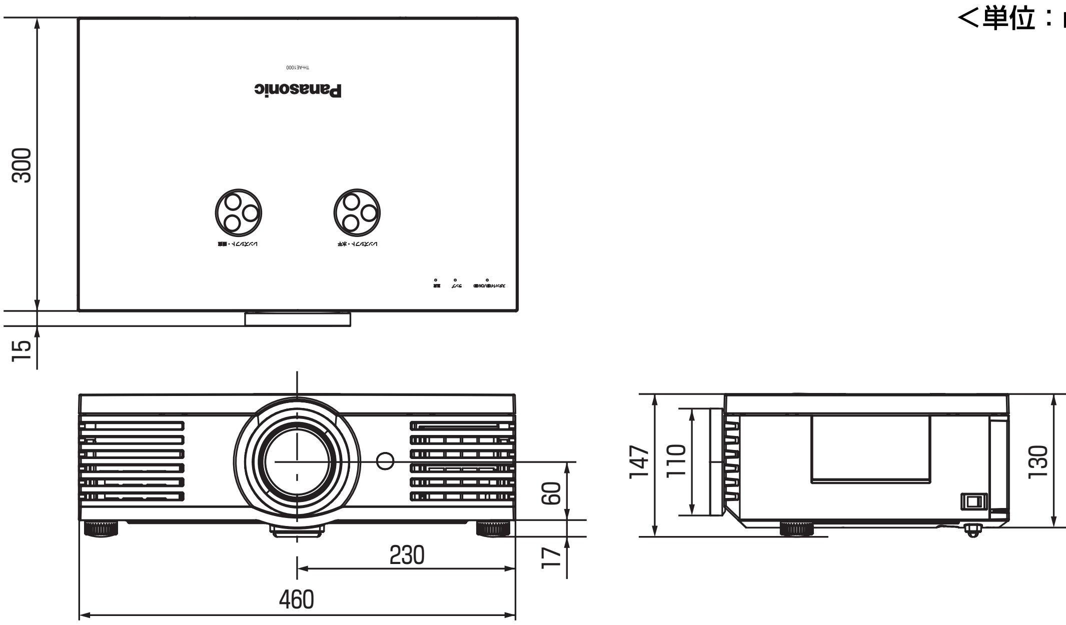
取扱説明書内の用語について説明します。

| | |
|---|---|
| **D 端子（D5 入力端子）** | D 端子は、コンポーネントビデオ信号と制御信号を 1 つにまとめた端子。制御信号は、自動的に走査線とアスペクト比を切り換えるための信号。 |
| **DCDM** | Digital Cinema Initiative Distribution Master の略 |
| **DVI** | Digital Visual Interface の略。<br>プロジェクターと外部機器をデジタル信号で直接つなぐインターフェース規格。<br>RGB 信号や YPBPR（YCBCR）信号をデジタル信号のまま送るため、信号の劣化がなくなり画質が向上する。主にパソコンとの接続に使用する。 |
| **HDMI** | High Definition Multimedia Interface の略。<br>プロジェクターと外部機器をデジタル信号で直接つなぐインターフェース規格。<br>RGB 信号や YPBPR（YCBCR）信号をデジタル信号のまま送るため、信号の劣化がなくなり画質が向上する。<br>DVI を AV 家電向けに拡張したもの。 |
| **HDTV** | High Definition Television の略。<br>従来方式のテレビの走査線（NTSC 525 本、PAL・SECAM 625 本）から、約 2 倍の 1125 本または 1250 本に増やして画質を向上させた次世代テレビ方式の総称。 |
| **IRE** | 映像信号において、輝度の基準となる信号レベルを 0%、白レベルを 100% としたときの、信号レベルのこと。 |
| **MPEG** | Moving Picture Coding Experts Group の略。<br>デジタル動画を効率的に圧縮するための技術規格。<br>MPEG1、MPEG2、MPEG4 などがあり、パソコンで閲覧できる映像ファイルや DVD-Video、デジタル放送などに利用されている。 |
| **NTSC** | National TV Standards Committee の略。<br>日本や米国などで利用されているビデオ・テレビの信号方式。<br>（走査線 525 本、30 インタレースフレーム／秒） |
| **PAL** | Phase Alternating Line の略。ヨーロッパや中国などで利用されているビデオ・テレビの信号方式。（走査線 625 本、25 インタレースフレーム／秒） |
| **RGB** | Red( 赤 )、Green( 緑 )、Blue( 青 ) の光の 3 原色。プロジェクターや、モニタ、カラーテレビなどでは、この 3 つの色を混ぜ合わせることで色調を表現する。 |
| **SECAM** | Sequentiel Couleur avec Memoire（仏語）の略。<br>フランス、ロシア、東欧、中東、アフリカなどで利用されているビデオ・テレビの信号方式。（走査線 625 本、25 インタレースフレーム／秒） |
| **WSS** | Wide Screen Signalling の略。映像信号に画面の縦横比（アスペクト比）の識別信号があれば自動的にアスペクト比を切り換える機能。<br>通常、日本の放送電波では対応していません。 |
| **アクティブマトリクス方式** | 液晶パネルの駆動方式のひとつ。画素の 1 つ 1 つに対応するアクティブ素子を追加しているため、クリアで応答速度が速い。 |
| **オーバースキャン** | テレビ画面などで入力された信号の外周部を切り落として表示すること。 |
| **カラーマネジメント** | 「映像メニュー」に対して、カーソルで調整したい色を選択し、お好みに合わせて調整・保存・呼び出しすることができる機能。 |
| **コンポーネントビデオ信号（YPBPR）** | S ビデオ信号より、さらに高画質化を図った信号で、色どうしの干渉を避けるため、輝度信号と色信号を分離し、Y は輝度、PB（CB）は青系、PR（CR）は赤系に分けて送る色差方式の信号。 |
| **シリアル端子** | プロジェクターとパソコンを接続して、パソコンで制御することができるシリアル通信規格。ほとんどのパソコンに標準で搭載されている。<br>本機は RS-232C（Recommended Standard 232 version C の略）に準拠。 |
| **台形ひずみ** | スクリーンに映像を投写する際に、プロジェクターがスクリーンに対して上下や左右に傾いていると映像が台形の形にひずんで投写されること。 |
| **プロファイル** | カラーマネジメントで調整した内容を記録したもの。 |

# 索引

# 外形寸法図

＜単位：mm＞




## 愛情点検　長年ご使用のプロジェクターの点検を！

**こんな症状はありませんか**

- 電源スイッチを入れても映像がでない
- 映像が連続してチラついたりユレたりする。
- 電源入時以外にジージー・パチパチと異常な音がする。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った

▶ このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため 19、20 ページの手順でコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

## 便利メモ　おぼえのため記入されると便利です。

| お買い上げ日 | 年　　月　　日 | 品番 | TH-AE1000 |
|---|---|---|---|
| 販 売 店 名 | ☎（　　　）－ | | |
| お　客　様<br>ご 相 談 窓 口 | ☎（　　　）－ | | |

**松下電器産業株式会社 システム事業グループ**

〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

この取扱説明書は再生紙を使用しております。



S1006-1106B